



### 農林水産省 本省案内

地下鉄丸ノ内線、日比谷線、千代田線霞ヶ関駅A6、A7、A9出口  
※来館の際は、身分証(学生証、運転免許証など)をご持参の上、正面玄関よりお越しください。

### 問い合わせ先

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 農林水産省大臣官房秘書課  
電話:03-3502-8111(内線3002) 03-6744-2001(直通)

### 農林水産省採用ページ

<https://www.maff.go.jp/j/joinus/recruit/>



Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

# この国の 食をつなぎ、 環境を支える。

未来へ向けて、わたしたちの挑戦はつづきます。

## VISION STATEMENT ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、  
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、  
常に国民の期待を正面から受けとめ  
時代の変化を見通して政策を提案し、  
その実現に向けて全力で行動します。

## CONTENTS

### Part1 Introduction

ビジョン・ステートメント／目次	P.3
組織図	P.4

### Part2 Special Article

01 幹部対談企画	P.6
02 若手のクロス×トーク	P.8

### Part3 Mission

01 基本政策	P.10
環境政策・デジタル戦略	P.11
02 新事業・食品産業	P.12
03 消費・安全	P.13
04 輸出・国際交渉	P.14
05 生産振興(農産)	P.15
06 生産振興(畜産)	P.16
07 経営者育成	P.17
08 農村振興	P.18
09 技術開発	P.19
10 林野庁	P.20
11 水産庁	P.21

### Part4 Work Life

01 局長	P.22
02 課長	P.24
03 海外勤務	P.26
04 地方勤務	P.28
05 他省庁出向	P.30
06 経験者採用	P.31
07 若手職員の1日	P.32
08 新人職員アンケート	P.34
09 育児休業、育児休業復帰	P.36

### Part5 Information

育児支援に向けた農林水産省の取組	P.38
キャリアパス・研修・農村研修レポート	P.40
採用実績	P.42
採用関連Q&A	P.43



# 国民の「未来」を支える組織

農林水産省組織図(令和4年1月1日現在)



# 幹部職員3名が語る 農林水産省の 現在、そして未来

現在、農林水産省の輸出・国際局輸出支援課、経営局農地政策課、大臣官房環境バイオマス政策課で活躍する幹部職員3人にお集まりいただき、農林水産行政が抱える課題や取り組み、今後、必要とされる施策について、そして、本省の魅力や学生の皆さんへの期待など、大いに語り合っていました。



**佐藤 紳**  
輸出・国際局  
輸出支援課長  
H4入省 | 種農学



**望月 健司**  
経営局  
農地政策課長  
H8入省 | 種経済



**久保 牧衣子**  
大臣官房 環境バイオマス政策課  
地球環境対策室長  
H10入省 | 種農業経済

## 現在の農林水産行政の課題は？

### ～強い国内農業の実現～

**佐藤** 私が最大の課題と考えているのが、労働生産性の向上です。少子高齢化や地方人口の減少により、農林水産業の担い手のみならず、これを補助する労働力の確保も困難になっています。農林水産業と地域の持続性を維持するためには、少ない人員、短い労働時間で現在と同等以上の生産を担うことができる体制を早急に整える必要があります。

**望月** そうですね。食料安全保障の観点からも国内生産を増加させていく必要があると思います。国内生産者の高齢化が加速化していますが、コロナ禍の影響で他業種からの労働力の移転、都市から地方への移住人口の増加といった新しい動きもあります。こうした社会的な変化を踏まえ、新たな担い手を確保しつつ、国内生産力を増強させていくことが不可欠です。

**久保** 食と環境を次世代につなぐという省のミッションの実現です。農林水産業も生産性だけに偏重すると、環境への負荷が生じます。最近では、リンなどの化学肥料の原料や、原油価格の高騰が問題になっていますが、こうした輸入資源の価格高騰のたびに対策を講じるのではなく、地域資源を活用し、生産力の向上と地球環境を両立させる農林水産業への転換が大切だと思います。

### ～世界の動向を踏まえた政策立案～

**望月** 日本の農林水産業は原油だけでなく、穀物相場、為替、世界的な食料需給動向など、幅広い分野の影響を受けているということをお忘れにはないと思います。現在、食料の約6割を海外に依存しているため、グローバルな動きを念頭に置いた、国内政策立案が必要ではないでしょうか。

**佐藤** 少子・高齢化、人口減少によって国内市場は確実に縮小していく一方、目を海外に転じれば、増加する人口と所得の向上に伴って、拡大する巨大な市場が広がっています。国内市場の高い要求水準にまで来た日本の農林水産物は世界のニーズにも対応し、高い評価を得ることが可能です。他国の経済成長を地方に取り込み、労働生産性向上に向けた投資を生み出し、さらなる成長

を生む好循環をつくっていく必要があります。

**久保** 国内の未利用資源などを活用し、海外に頼りすぎない産業へ転換していくことが重要です。他方、日本の食卓には真っ赤なリンゴや真っすくなくキュウリが当然のように並んでいますが、その裏側では、色や形をよくするための作業や農薬散布が行われ、見た目が悪いと規格外として廃棄されるものも少なくありません。飢餓の問題や環境負荷軽減などSDGsの理念を考えると、見た目や形にとらわれない消費を進めていくことも重要です。

## 2050年 農林水産業のあるべき姿とは？

**佐藤** 私は現在農林水産物・食品の輸出支援を担当していますが、近年、食品衛生や防疫などの観点で輸出先の国が設ける様々な規制に対応するだけでなく、環境や持続性、人権、倫理への配慮が強く求められるようになってきており、2050年にはそれがグローバルスタンダードになっていると考えています。

**望月** 2050年におけるわが国の人口は約1億人と、現在の8割程度になる見込みです。農林水産業の担い手もますます減少していく中、従来の専業に加え、兼業という形で他産業の従事者も労働力として呼び込むと同時に、無人ロボットやドローンなどを活用したスマート農業を広めていくことが重要だと思います。

**久保** 望月さんも指摘された新技術の活用により、生産力の向上と環境負荷軽減を同時に実現させることが可能です。また、地熱や工場からの排熱など、国内の未利用資源やエネルギーを活用することで輸入依存から脱却し、地域資源の循環利用へと転換していくこともできる。生産だけではなく、調達から販売まで、サプライチェーン全体を見ていくことが大切です。

**佐藤** ええ。これまで日本の農林水産業は、技術革新を取り込みながら市場や社会のさまざまな要求に応じてきました。この姿勢こそが、いつの時代でも変わることのないあるべき姿だと考えています。

## 農林水産省の魅力は？

**佐藤** 他省庁に出向していたときに感じたのですが、我々はひとつひとつ上司の確認を取りながら中身を練っていきますが、彼らは

アイデアやひらめきで勝負をしていたという印象があります。どちらがいいということではなく、省によって文化の違いはありますね。  
**望月** ひとことで言うと、国民との距離が近いことです。たとえば、農業従事者の方々と話し合いをするのに、会議室よりも現地で車座になって話すことが多く、相手と同じ目線で話をします。そうやって、相手の要望をじかに吸い上げて政策に反映する。これが他省庁との最大の違いだと思います。

**久保** 食という非常に重要なコンテンツがあること、扱うフィールドが広いことです。日本の7割が森林、1割が農地、さらに排他的経済水域は国土の約12倍あります。我々の施策というのはこの国全体に大きな影響を与えることになり、これは魅力的なことではないでしょうか。また、省内の雰囲気も温かいと他省庁からの出向者に言われます。

## 入省する学生に求められるスキルは？

**佐藤** 生産現場や消費者の皆さまが何に悩み、我々に何を期待しているのか、対話を通じて一人ひとりがしっかりと理解し、自らの業務や施策に反映させる。それが農林水産省の職員の使命です。“結果にかかわらず、相手の思いがしっかりと理解できれば、そこから信頼関係が生まれてくる”これが私の信条で、必要なスキルをひとつ挙げるなら相手の心を理解する力ですね。

**望月** 5Gなどのデジタル化や脱炭素化、水素自動車など、農林水産業以外の分野の動向に対するアンテナを高くすることだと思います。農林水産業の活性化には、他分野の技術導入が不可欠です。新たな分野の技術を採り入れ、その力を発揮させるために、農林水産省の枠にとどまらず、いろいろな人の話を聞き、人脈を築くことも大切です。

**久保** 食や農林水産業に関わる全ての産業の方々との対話力。自分が進める政策が誰にどのような影響を与えるのかという想像力。そして、将来の日本の食料安定供給と環境の継承のために働くんだという気概。ぜひ、この3つを持ってほしいですね。

**望月** もうひとつ、“農林水産業について知らないから、この省は向かない”と思わないでほしい。必要なことは、入省してから勉強すれば大丈夫です。

**佐藤** 若い力に期待しています。

# 若手の クロス×トーク

IN 農林水産省食堂 手しごとや咲くら

## 多様な知識・経験が活かせる

**森** 私も鮫島さんも同じ消費・安全局食品安全政策課で働いていて同じ食品安全分野を取り扱っていますが、所属する班が異なるので仕事内容はかなり違いますよね。

**鮫島** そうですね。私が所属する化学物質管理班では、食品の中でも主に加工食品中の有害化学物質のリスク管理を行っています。食品中の有害化学物質は、環境等から入ってくることもあれば、原材料となる食品にもともと含まれる成分が加工中に変化してできることもあります。そうした物質について、食品中の濃度を下げる方法などを検討しています。

**森** 私が所属するリスク管理企画班は、消費・安全局の食品安全に関するリスク管理をする部署を取りまとめ、どういう方針で食品安全行政を進めていくかの舵取り役のような仕事をしています。普段から周囲の方に意見を求めながら進めていくことが多いのですが、同じ消費・安全局の職員でも学生時代の専攻等によって専門分野がまったく異なるので、それぞれの視点からさまざまな意見が聞けて面白いですね。私自身、触媒化学が専攻で、食品とは全然違う分野の出身です。鮫島さんの専攻はどちらですか？

**鮫島** 食品科学です。管理栄養士の資格も持っています。

**森** 食品科学の知識は現在の仕事にも活かそうですね。

**鮫島** もちろん学生時代の知識だけでは足りないので勉強は必須ですが、調理や食品加工の基本的なことを知っている分、食品の製造方法や成分の変化について理解しやすいと感じています。

## 自身の取組が形になっていく喜び

**森** 昨年、有害化学物質の「優先リスト」の見直しと新たな「中期計画」の策定に携わったのですが、これは大変でした。世の中に存在する多くの化学物質の中から、農林水産省がどの物質に注目してリスク管理を進めていくかをまとめたものが優先リストで、そのリストにある化学物質を今後5年間でどのように調査していくか、調査計画をまとめたのが中期計画です。5年に1度実施する大掛かりな作業で、消費者、生産者、食品事業者等、関係者へのアンケートや意見交換もあり、印象に残っています。鮫島さんはこれまでに何か印象に残っていることがありますか。

**鮫島** そうですね…。農林水産省が実施する食品のリスク管理には、食品事業者の皆様との協力が不可欠なことが多くあります。そのため、まずは低減対策に取り組もうとしている物質について、どういった問題があるのか、なぜ対策が必要なのかを理解していただかなくてはなりません。事業者の皆様や関係部署と何度も対話を重ね、最終的には事業者の皆様主体で低減の取組指針を策定するところまで進んだ時のことがとても印象に残っています。

## 働き方改革で子育てもしやすい環境

**森** 農林水産省が働き方改革に力を入れていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、テレワークの導入などが予想以上の速さで進んでいる気がします。どうですか？ 休暇の取得も上司が積極的に声がけをしてくれるので取りやすい雰囲気になっていますし、定時退庁日には課長自ら率先して仕事を切り上げるため、課全体が帰りやすい雰囲気になっていますよね。

**鮫島** テレワークの導入はとても助かっています。小さい子どもがいるので保育園に預けながら仕事をしていますが、急な発熱などで保育園へのお迎えが突然必要になることがあります。保育園は自宅から近いので、テレワークだとすぐに行けてありがたいです。

**森** それはいいですね。私は毎朝、メールチェックをしたり、ニュース等で世の中の動きを簡単に確認したりしてから作業に入るのが基本的なルーチンになっていますが、育児中で時間に制限が多いと仕事の進め方も変わってきますよね。急な仕事が発生したり、いくつも仕事が重なったりして困ることはないですか？

**鮫島** 他部署とのやりとりで期限が決められるような仕事はそれ

ほど多くない部署ですし、配慮もいただいているので、特に困ることはありません。同じように子育て中の方も多いので、いろいろと理解が得られやすい環境だと思います。

## テレワークで業務の進め方にも変化が

**森** 私は特に緊急事態宣言中、力を入れて週に3、4回ほどテレワークをしていましたが、鮫島さんもテレワークが多かったですよね。

**鮫島** 週に4回はテレワークでしたね。役所は紙でのやりとりが多いイメージがあるかもしれませんが、テレワークの導入が進む前から資料の電子化は進められていたので、それほど不便は感じませんでした。

**森** 以前は上司に資料を確認してもらう際には、印刷したものを互いに見ながら対面でやり取りを行っていましたが、最近は電子媒体でチェックしてもらい、それを見ながら電話などでやり取りするのが基本になっていますね。

**鮫島** 課内の定例会議もオンラインになりましたね。

**森** そうですね。会議などの改まった場でなくても、Skypeのチャット機能を使って、割と自由に、つぶやきに近いようなやり取りも頻繁にしていますよね。

**鮫島** さっき来たメールこうだよな…。みたいな。

**森** そうそう(笑)。気軽なやりとりから仕事上の気づきが得られることも多くあるので、こういったコミュニケーションも大切にしています。

## 学生の皆さんへのメッセージ

**鮫島** 国家公務員の仕事は、理念や意義は分かっても、具体的な働き方そのものはイメージしにくく、迷う人も多いと思います。そんなときは、まずはいろいろな人の話を聞いてみてはどうでしょうか。採用説明会などで実際に省庁の職員と話してみても、居心地がよさそうだなと感じるかどうかも大切だと思います。不安なことや知りたいことがあれば、採用担当をはじめ、職員に気軽にたずねてみてください。

**森** 同感です。私は農林水産省で自分の学生時代の知識を活かせると思っていなかったのですが、就活を始めた当初は全く関心がありませんでした。でも、直接いろいろな人に来て話を聞く中で可能性があることに気づき、今に至っています。農林水産省に関心を持っている人もそうでない人も、まずは話を聞きに訪れてみてください。きっと、今後に役立つ新しい気づきに会えると思います。



「文字でさしこむ！」

食品の安全は最も大切ですが、美味しさや安定供給も軽視できません。色々な側面からよく考えるよう心がけています。

鮫島 那奈

消費・安全局 食品安全政策課  
化学物質管理班企画係長  
H26入省  
総合職化学・生物・薬学

仕事で大専(しそい)の(は...  
**熟慮**

鮫島さんオススメ!

### 釜揚げしらす丼と筑前煮

さっぱりした和食ですが、しっかりボリュームもある満足の一皿です。

👍豆知識

食卓に欠かせない醤油も、事業者の方々の努力によって、製造工程でできる有害物質の濃度がとても低く抑えられているんですよ。



単品メニューも充実しています!

食料自給率  
**92%**

※釜揚げしらす丼

食料自給率  
**53%**

森さんオススメ!

### 鯖コロッケカレー

野菜をしっかりとりたいたいけど、ボリュームも欲しい。そんなときにはこれです。

👍豆知識

料理に使う植物油の精製工程でも有害物質ができることがあるので、事業者の方々や連携しながら低減技術の開発などを進めています。



「文字でさしこむ！」

信頼関係を築くことは大切です。信頼は誠意をもって行動してこそ得られるものだと思うので、日々心掛けています。

森 飛洋

消費・安全局 食品安全政策課  
リスク管理専門官  
H25入省  
総合職化学・生物・薬学

仕事で大専(しそい)の(は...  
**誠意**



## 基本政策

農林水産省では、食の安全確保と安定供給、農業経営の安定、農業構造の強化、農山漁村地域の活性化など、幅広い取組を行っています。その基本的な政策ビジョンの策定、法令審査、予算編成、国会との連絡調整、広報活動、地方との連携など、農林水産省全体の政策に関する総合調整を行うのが大臣官房です。また、災害の予防・対策・復旧のほか、食料自給率の向上や食料の安定的な輸入による食料安全保障、2021年に策定した「みどりの食料システム戦略」を踏まえた環境政策についても、省内の調整役として舵取りを行っています。また、統計部では、統計理論を基に高精度な統計調査を実施し、農林水産業の現状や課題を明らかにすることを任務としています。

### 時代に合った持続可能な予算編成のために

#### 予算課のミッション

社会変化に合わせた機動的な予算編成を行います。近年、コロナによる外食需要減等の影響で農林水産業者の経営を支える予算が目立される一方で、輸出、スマート農業、環境負荷軽減といった新たな政策課題に対応するための予算が中長期的に必要なになっています。

#### 仕事内容

予算編成のうち、国が工事を行ったり補助を行う公共事業、米等を取り扱う特別会計の予算事業を担当しています。事業内容の妥当性の判断、予算額の査定等や、予算の仕組みの見直しも行っていきます。

#### 入省の動機

生きていくためには食料の安定供給が不可欠である一方、農林水産分野は構造的な課題も多く、解決のための仕組み作りをしてみたいと思ったのが入省の動機です。

好きな食べ物は？  
和食が大好きで、お米もたくさん食べます。

#### 朝日 健介

大臣官房 予算課  
課長補佐  
H19入省 1種法律



### 情勢を捉え、日本の未来の指標を示す

#### 経営・構造統計課のミッション

センサス統計室は、農林漁業における経営体数、就業者数、経営状況など、農林漁業の現状を生産・就業構造の面から明らかにする統計調査の企画や集計等を行っています。

#### 仕事内容

施策の決定や見直しについて検討するためのデータが欲しい、といった省内の様々な要望に合わせ、調査票情報を元に詳細な集計と確認を行い、集計結果の提供を行います。また、学術的な研究に利用するための調査票情報の提供も行っています。

#### 趣味

ボードゲームが趣味です。大まかな方針を決め、資源算出の拡大再生産を行い、他プレイヤーの行動を見極めて、目標を意識した得点の効率化を目指します。

得意な食べ物は？  
カツカレーです！

#### 加藤 江理花

大臣官房 統計部 経営・構造統計課  
センサス統計室 農林業センサス統計第1班  
係員  
H30入省 一般職行政



## 環境政策

国内外ではSDGsや環境を重視する動きが加速する中、我が国の食料・農林水産業は気候変動への対応、生産者の減少などの政策課題を抱えています。このため、「みどりの食料システム戦略」を策定し、省一丸となり食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現に取り組んでいます。農林水産業のCO2ゼロエミッション化に向けた検討、家畜排せつ物などのバイオマスの活用推進、生物多様性や地球温暖化などの地球規模の課題に対する国際交渉まで、任務は様々です。

### 農林漁業の健全な発展と再生可能エネルギー促進のために

#### 再生可能エネルギー室のミッション

2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けて、優良農地の確保を前提として、農山漁村の活力向上や農林漁業の発展に資する形で再生可能エネルギーの導入拡大を進めていくことがミッションです。

私は、農山漁村の地域資源を再生可能エネルギー等として活用し、地域の持続可能な発展を目指す取組に対して、計画策定のサポートや関連事業者とのマッチング、相談窓口の設置に対する支援を行っています。今後も、農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー発電の促進等に取り組んでいきます。

#### 学生へのメッセージ

学生時代にしかできないことを思いきり楽しんでください！ 今までの様々な経験が仕事にも役立つと思います。



得意な食べ物は？

お弁当を作ってます！

#### 武田 典子

大臣官房 環境バイオマス政策課  
再生可能エネルギー室  
再生可能エネルギー企画班 係員  
R1入省 一般職行政

## デジタル戦略

農林漁業・食品産業の現場や農林水産省の業務運営のデジタルトランスフォーメーション(DX)を戦略的かつ迅速に進めるのがデジタル戦略グループのミッションです。2021年3月に公表した「農業DX構想」に即し、農林水産省共通申請サービス(eMAFF)による行政手続きのオンライン化や、農地情報を統合し業務を効率化する農林水産省地理情報共通管理システム(eMAFF地図)の開発などの取組を精力的に進めています。



### 農林水産業・食関連産業の課題をデジタル技術で解決

#### デジタル戦略グループのミッション

社会全体でデジタル技術を活用した変革(デジタルトランスフォーメーション:DX)の実現に向けた取組が進められています。デジタル戦略グループでは、農林水産業・食関連産業に携わる方々の抱える課題をデジタル技術を活用して解決し、食料の安定供給や農林水産業・食関連産業の成長に貢献するとともに、行政手続に関する国民の利便性向上や行政実務の効率化を図ることができるよう、DX実現に向けた取組を進めています。

#### 入省の動機

学生時代に、遺伝子組み換え技術等の食品に関する新技術の導入についての専門家と非専門家のリスクコミュニケーションを研究テーマとしたのがきっかけとなり、農林水産省を志望しました。

得意な食べ物は？

かつ丼がおすすです！

#### 向江 拓郎

大臣官房 デジタル戦略グループ  
デジタル企画官  
H17入省 1種理工 I





# 先端

食に新しいアイデアを

## 新事業・食品産業

食品産業は、食品の加工・製造・流通を担い、消費者のニーズに応じて食品を供給する役割を果たしています。また、食品産業は、国産農林水産物の主要な需要先であり、多くの地域で農林水産業とともに地域経済を支える産業となっています。時代の変化に対応し、消費者の豊かな食生活を支え、世界が持続可能に発展していくため、農林水産省では食品産業の育成・振興、食品産業のESG対応の促進、フードテックなど新事業創出の取組を行っています。

### フードテックで世界の難題に挑む

#### 仕事内容

食に関する課題を解決する様々なフードテックが国内外で生まれています。例えば、世界の人口増に伴う食料増産と食料生産による環境負荷の低減といった相反する要求を両立する技術や、高齢者など食の制約のある者も食を楽しめる食のバリアフリーや医食同源の実現による健康増進に資する技術です。日本発のフードテックを盛り上げられるよう、優れた技術と意欲的な構想を持つ事業者の支援や制度的な課題への対応を行っています。

#### 入省の動機

リーマンショック後に食料価格が高騰し新興国でも混乱があったことにショックを受け、食料安定供給は古くて新しい課題だと感じました。食に困らない社会を次世代に引き継ぎたいと考え、農林水産省を志望しました。

#### 井戸 萌愛

大臣官房 新事業・食品産業部  
新事業・食品産業政策課  
課長補佐(新事業創出班担当)  
H22入省 | 種法律

新鮮な野菜を  
毎日の食生活に  
取り入れる  
のが目標です。



### 世界の栄養課題やSDGs達成に取り組む

#### 仕事内容

部の国際業務の窓口をしているほか、途上国・新興国の栄養改善を日本の食品企業と共に推進したり、ロシアにおける日本の病院食や介護食の導入に向けた取組を実施しています。

#### 最新のホットピック

現在、世界は深刻な栄養不良に直面しており、今般の新型コロナウイルス感染症はそれをさらに悪化させています。これら世界の栄養課題に立ち向かうため、オリンピック開催国がホストとなり栄養サミットが実施されています。2021年は日本がホスト国で12月7、8日に開催されました。

#### 学生へのメッセージ

ニュースを見る側からニュースにされる側になったり、数年おきに業務内容がガラッと変わったり、いろんな視点を経験する中で自分の核に気づくことのできる職場だと思います。

#### 松下 茜

大臣官房 新事業・食品産業部  
新事業・食品産業政策課  
課長補佐(国際班担当)  
H17入省 | 種農学I

海外では  
絵を見る  
ことと  
歩くことです。



## 消費・安全

何よりも大切なのは、国民の健康を守るということ。消費・安全局は、この考えのもとで、「食」の安全と安定供給を確保し、消費者が「食」に対する信頼感を持てるような政策の企画・実行を担当しています。食品の安全性を向上させるために、生産現場から食卓までのあらゆる場面で科学的な根拠に基づいた措置を講じています。また、家畜や農作物などの病気、害虫の発生やまん延を防ぐとともに、農畜産物の輸出を拡大するため、諸外国との検疫協議を戦略的に推進しています。さらに、消費者の視点に立った食品表示の適正化や、食と農林漁業への理解を深める食育にも力を入れています。

### 畜水産物の安全性確保のための 制度設計に携わる

#### 畜水産安全管理課のミッション

畜水産物の安全性を確保するため、科学的知見に基づいて、飼料の安全基準や動物用医薬品及び飼料添加物の使用基準の設定などのリスク管理措置の策定や見直し等を行っています。また、牛トレーサビリティ制度の円滑な運用や産業動物獣医師の確保等を通じて畜水産物の生産を支えています。さらに、愛玩動物分野では、ペットフードの安全性の確保や愛玩動物を対象とした看護師制度の発足に向けた準備を行う等、幅広い業務を行っています。

#### 入省の動機

自分の子ども、孫世代も安心してごはんが食べられるようにしたいと思ったのがきっかけです。生産者のみならず、食料生産に必要なプロセス全てに関わることができると魅力を感じました。

#### 朝倉 麗

消費・安全局 畜水産安全管理課  
課長補佐(小動物獣医療班担当)  
H22年入省 | 種農学I



得意な料理は?  
玉ねぎ多めの  
カレーライス。  
週末の定番  
です。

### 食品の安全性を向上させ、 国民の健康を守る

#### 仕事内容

皆様に安全な食品を安定的にお届けできるよう、生産から消費にわたり食品の安全性を向上させるための取組を推進しています。食品の加工工程では、もともと食品に含まれている成分から意図せずして生成する有害化学物質も存在します。このような有害化学物質を食品の味や品質を維持しながら低減させることが出来る技術を検討、策定し、生産現場へ普及を行っています。また、策定した対策の効果検証や見直しも行っていきます。

#### 入省の動機

毎日の生活に直結している仕事でした。たかたかからず、また、田舎で米を作っていることもあり食に興味があったのも理由の一つです。

#### 森 飛洋

消費・安全局 食品安全政策課  
リスク管理専門官  
H25入省 | 総合職化学・生物・薬学



得意な料理は?  
和幸の  
野菜炒め弁当を  
よく食べて  
います。



# 信頼

食の安心、安全を守り抜きたい



# 世界

日本の食を世界に

## 輸出・国際交渉

農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円とする目標の達成に向けて、海外での販売力強化、輸出産地の育成・展開、放射性物質や動植物検疫規制の緩和・撤廃交渉などの取組を行っています。あわせて、地理的表示(GI)の相互保護や植物新品種の海外流出防止など、日本の強みを守り活かすための知的財産の保護・活用に取り組んでいます。また、日本産農林水産物・食品のマーケットの拡大のためにも、TPP、WTO等の貿易交渉や、国際会議等におけるグローバルな議論に参画し、我が国の食料の安定供給の確保はもとより、SDGsとの関係でも重要な世界の食料問題の解決に取り組んでいます。

### 輸出促進のための環境を整備する

#### 輸出支援課のミッション

農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円とする目標を達成するため、農林水産・食品事業者の皆様が輸出に取り組みやすくなるよう、輸出環境を整備することが輸出支援課のミッションです。

#### 仕事内容

農林水産物・食品の更なる輸出拡大に向け、海外市場が求めている産品を専門的・継続的に生産・輸出し、あらゆる形で商流を開拓する体制の整備を行うための制度を検討しています。

#### 学生へのメッセージ

現在の多様化した農林水産業を取り巻く課題の解決には今までとは異なったアプローチが必要です。多角的な視点を培うためにも、学生の間に様々なことに挑戦してみてください。必ず今後の仕事に活きます。

好きな食べ物は？  
ラーメンです！



露口 史哉

輸出・国際局 輸出支援課  
輸出制度検討チーム 係員  
H30入省 総合職法律

### 戦略的・二国間関係構築で輸出拡大を進める

#### 国際地域課のミッション

国際地域課は農林水産業・食品産業分野における二国間の経済連携、国際協力等の推進と、輸入規制の緩和・撤廃に向けた働きかけや輸出促進のためのプロモーション活動を一体的かつ戦略的に実施し、輸出拡大を進めることをミッションとしています。

#### 最新のホットピック

これまでの諸外国・地域への働きかけの結果、福島第一原子力発電所の事故以降続いていた日本産食品の放射性物質に係る輸入規制が2021年9月に米国において撤廃され、EUでも同年10月に大幅に緩和されました。

#### 学生へのメッセージ

農林水産省は業務が多岐に渡るため、入省後も自分の興味・関心を深めていくことができます。特に国際業務は、交渉を進める上で国内外の動きを把握しておく必要があるため、国際情勢をはじめ幅広い分野の情報に触れる機会が多いことが魅力です。

おすすめに焼きたこです。



蜂巢 実穂

輸出・国際局 国際地域課 係員  
R2入省 一般職行政

## 生産振興(農産)

農産物の生産・販売を持続的に拡大し、農業者の所得向上を図るため、農産物の生産振興施策を推進しています。具体的には、新品種・新技術の導入による農産物の高品質化や安定供給を図るとともに、農家の経営を安定させる対策を行っているほか、農業生産に必要な農業資材の良質かつ低価格な供給などによる生産コストの低減を通じて、農業者の所得向上を図ることで、我が国の食卓に欠かせない、米・麦(土地利用型作物)や、さとうきび・てん菜(甘味資源作物)、茶(地域特産作物)、そして野菜・果樹(園芸作物)などの生産振興に取り組んでいます。また、有機農業を含む環境保全型農業の推進や、農業生産工程管理(GAP)の普及によって環境保全と消費者の信頼を確保することにも力を入れています。

### 持続可能な農業生産の実現を目指す

#### 仕事内容

米、野菜、果樹などの品目では、各品目担当に必要な支援策を検討しているところですが、選果場などの施設やトラクターなどの農業機械といった品目に限定されずに必要となる支援については、生産推進室で取りまとめて事業化します。そのため、各品目特有の事情などを踏まえつつ、品目間でバランスの取れた制度設計が必要となります。毎日、様々な担当と調整が必要で、幅広い知識や調整能力・コミュニケーション能力が必要になります。

#### 学生へのメッセージ

民間や地方自治体ではできない仕事は国には多くあります。その中で衣食住のうち最も欠かすことのできない「食」に直結する農水省の仕事は、常に時代変化に対応しながら国民に食料を供給するという使命を持っています。

得意な動物は？  
卵焼き、子供たちの大好物です。



木村 晃太郎

農産局 総務課  
生産推進室 課長補佐(企画調整班担当)  
H20入省 1種農学I

### 生産現場と食生活を支え、日常生活を豊かに

#### 園芸作物課のミッション

園芸作物課のミッションは、野菜、果樹、花きの生産振興及び消費拡大に対する支援を通じて、生産現場と国民の食生活を支えること、日常生活を豊かにすることです。野菜、果樹は、身体の調子を整える栄養素を多く含む食生活に欠かせないものであり、花きは、生活に彩りをもたらしてくれます。作物の特性上、業務範囲は多岐に渡り、加工業務用国産野菜の安定供給や花きの需要構造の変化に対する支援など様々な施策を講じています。

#### 趣味

たまに山へ登ります。関東地方への転勤を機に職場の方に誘われて始めました。普段の生活では見ることのできない景色を見ることができ、気分転換になります。また、運動不足の解消にもなるので、おすすめです。

好きな食べ物は？  
みかんです。デスクで食べて風邪予防しています。



仁久丸 維子

農産局 園芸作物課  
花き振興第2班 花き企画係長  
H24入省 II種農学



強い農業をつくる

# 現場





新たな価値を生み出している

## 生産振興（畜産）

畜産物を安全かつ安定的に供給するとともに、畜産農家や関連事業者の経営安定等を図るため、中長期的な展望に立って生産から流通・消費に至る一連の畜産振興施策を推進しています。最近では和牛や乳製品の国内外からの高まる需要に応えるため、牛肉や乳製品の国内生産量を増やし、畜産農家の所得向上につながる取組を企画・立案するほか、畜産農家の労働環境の改善、環境対策等、畜産業が将来に渡って持続的に発展し続けるよう取り組んでいます。飼料・家畜・堆肥という地域資源の循環を実現する畜産業の振興のために、現場主義を心がけ、毎日の業務に取り組んでいます。

### 畜産の持続的な生産を支える

#### 企画課のミッション

我が国の畜産業は人が食料とできない牧草などをエサとして活用し、耕種農業ができない山間地・寒冷地帯で営農できる重要な産業です。一方、畜産物の生産には多くのエネルギーが必要なことや環境に負荷を与える側面に着目して、乳製品や肉を代替する食品も増えてきています。畜産局ではそういった動きを否定するのではなく、我が国の畜産業の持続的な生産を目指し、環境負荷の軽減などにより一層取り組んでいくこととしています。

#### 趣味

これまで地方勤務や出張で日本各地を訪問したことがきっかけで、各地域の特長のある料理・食材を味わうことが好きになり、今はまっているのは各地のご飯のお供をネットで取り寄せ、家族で白飯の朝ご飯を食べることです。

#### 林 康之

畜産局 企画課  
課長補佐（畜舎基準企画班担当）  
H14入省 | 種農学I

畜舎に必要の具は？  
弁慶の  
ほろほろ漬け  
（岩手の漬け物）  
です。



### 安全な食肉・鶏卵を広く届ける

#### 食肉鶏卵課のミッション

国民の皆様へ安全な食肉・鶏卵を、安定的に供給することが食肉鶏卵課のミッションです。このため、食肉・鶏卵の生産、流通、消費の増進など幅広い業務を行います。

#### 仕事内容

食肉の取引・流通の改善や、消費の増進など、食肉流通関係の業務を担当しています。食肉流通に必要な不可欠である食肉処理施設の再編・整備を支援し、国内における食肉の生産・流通体制の強化と海外への輸出拡大を図っています。

#### 入省の動機

大学で畜産を学び、国内外の様々な現場に触れる中で、日本の畜産業が、その土地の文化や環境に根差しつつ、時代の変化にも対応していけるよう支えたいと思い、それが実現できるのは農林水産省だと考えました。

#### 諏訪 ひなの

畜産局 食肉鶏卵課  
食肉流通班 係員  
R1入省 | 畜産系技術職

好きなおにぎりは？  
辛子明太子  
です。



## 経営者育成

我が国の農業が今後持続的に発展していくよう、農業経営の改善と発展に向けた各種施策を進めています。農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、意欲と能力のある担い手を対象とした融資、税制などの重点的な支援、新規就農対策などに取り組んでいます。また、天候などに左右されやすい農業経営を安定化させるためのセーフティネットの確保、農協の指導や監督も行っています。

### 次世代の農業の担い手を育てる

#### 経営政策課のミッション

経営の改善を進めようとする農業者のみなさんに対する支援、農業経営の法人化促進、経営課題の相談体制の構築など、農業経営に関する総合的な政策の企画・立案を行っています。

私は、農業者のみなさんが充実した老後生活を送るための農業者年金に関する法令や、農地の適切な利用を促進するため、分散した農地を借受け、まとまりある形に整理した上で貸付けを行う農地中間管理機構に関する法令等の改正業務を担当しています。

#### 入省の動機

SDGsが話題になり始めたことをきっかけに、人が生きていく上で「食」と「環境」は最も大切だと思い志望しました。

#### 浅沼 莉奈

経営局 経営政策課  
係長  
R2入省 | 選考採用



得意な野菜は？  
煮込みハン  
バーグ、ラザニア、  
三杯鶏が  
得意です。

### 農業のしやすい仕組みを整える

#### 農地政策課のミッション

農地制度や農業委員会制度、国有農地等の管理がミッションです。高齢化や人口減少が本格化する中で、農業者の減少や耕作放棄地の拡大がさらに進み、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されています。こうした中、農林水産省では2021年12月に「人・農地など関連施策の見直し」について、施策の対応方向をとりまとめました。現在、この方向性に沿って、各種施策の見直しを進めています。

#### 学生へのメッセージ

新型コロナの影響を受けて、農林水産省においてもテレワークや研修のリモート実施など、働く環境は以前よりも大きく変化していますが、どんな状況でも前向きに取り組める方が来てくれれば嬉しいです。

#### 豊福 祐平

経営局 農地政策課  
総務班 庶務係長  
H26入省 | 一般職行政

得意なメニューは？  
私の定番  
メニューは  
野菜炒め弁当  
です。



農業の担い手を育てる

育成



# 地域

地域の魅力を高める

## 農村振興

土地(農地)や水(農業用水)は、我が国の農業生産を支える重要なインフラです。農業の競争力を高め、農村地域を災害から守るため、それらの保全や管理・整備を進めています。また、農山漁村には、美しい景観、伝統的な食、古民家やジビエなど多くの資源が眠っています。これらの地域の宝を磨き上げ、農山漁村の振興に繋げるための地域の特色ある取組も推進しています。こうした取組を通じて、美しく活力ある農山漁村を創りあげていきます。

### より強い農業のため、農地を整備する

#### 農地資源課のミッション

農業生産の基礎となる「農地」。農地資源課は、その名のとおり農地の整備や維持に関する業務を所管しています。私が所属する経営体育成基盤整備推進室は、都道府県等が実施する農地の大区画化や汎用化といった農地整備事業を所管しています。この事業の実施により、生産性の向上した農地を整備し、意欲ある担い手がより営農しやすい環境を作っていくとともに、競争力を持ったより強い農業を推進しています。

#### 入省の動機

祖父母が農業を営んでおり、私も幼い頃から農業に従事し、過疎化する農村の現状を見てきました。「産業としての農業を強くし、農村でこれからも人が暮らしていけるようにしたい」とずっと考え、入省を志しました。

谷 悠一郎

農村振興局 農地資源課  
経営体育成事業企画班 企画係長  
H28入省 総合職農業農村工学



チキン南蛮、省のお弁当でも居酒屋でも頼んでしまいます。

### 「農泊」で農山漁村の魅力をPR

#### 農泊推進室のミッション

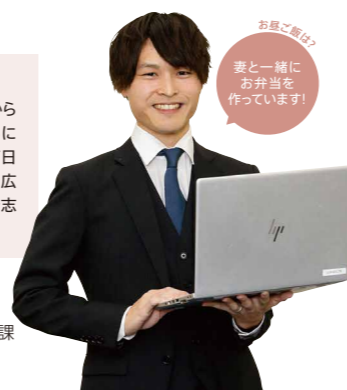
あなたは「農泊」をご存じですか？農山漁村に滞在し、その地ならではの食べ物を食べ、その地ならではの体験をすることによって、農山漁村の魅力を全身で感じることで新しい旅行スタイルです。我々農泊推進室は、そのような農泊をきっかけに農山漁村に興味を持つ方が増えるよう、日々推進に努めています。農泊の取組が広がることによって、農山漁村の所得が向上し、日本が地方から元気になることを目指しています。

#### 入省の動機

実家が農地を所有しており幼いころから身近に農業を見てきたこと、学生のころに行った農村ボランティアで改めて学んだ日本の農山漁村の魅力をもっと多くの人に広めたいと思ったことから、農林水産省を志望しました。

内田 深吾

農村振興局 農村政策部 都市農村交流課  
農泊推進室 事業推進班 係員  
H27入省 一般職行政



お昼ご飯は？妻と一緒に弁当を作っています！

## 技術開発

日本の農業を魅力ある成長産業とするカギは「スマート農業」にあります。AI・ドローン等の先端技術を現場に実装することで、生産者の負担軽減と所得向上を目指します。また、環境問題が深刻化している中で、SDGsへの対応も重要です。食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現していくために、2021年に策定した「みどりの食料システム戦略」に基づき、温室効果ガスの削減など環境負荷軽減に取り組んでいきます。新たな研究開発を進め、農林漁業者、企業、大学、他省庁と連携し、あらゆる可能性を追求していきます。

### 持続可能で戦略的な生産技術を考える

#### 研究開発官室のミッション

農林水産業・食品産業の競争力強化やSDGsといった持続可能性の実現に向け、国を挙げて取り組むべき重要な課題について委託プロジェクト研究を企画・立案し、戦略的な技術開発を推進することです。当室では、最先端技術であるゲノム編集やAIを活用した育種などの基礎的・基盤的な研究や、地球温暖化対応の一つとして農林水産業におけるカーボンニュートラルに向けた技術開発を担当しています。

#### 趣味

趣味は旅行です。特にご当地グルメを食べ歩きすることが好きです。最近は遠出できていませんが、近所でおいしいお店の発掘を楽しんでいます。

朽木 春菜

農林水産技術会議事務局  
研究開発官付 係員  
R1入省 一般職農学



得意な料理は？煮込み料理です。週末に作り置きしています。

### 研究から生まれた先端技術を社会に送り出す

#### 研究推進課のミッション

研究推進課は、農林水産・食品分野の研究を推進する方策の企画・立案や、研究成果の実用化の推進がミッションです。具体的には、大学や企業の研究者などを対象として公募する研究事業について仕組みを考え、財務省への予算要求や事業内容の省内調整、事業実施を担っています。研究開発成果の社会実装という点では、産学官が連携した共同研究を推進する場の提供や、先端技術を農場で実証する事業も行っています。

#### 学生へのメッセージ

農林水産省は多様なアイデアを尊重してくれる省庁だと思いますので、学生時代には学業だけでなく様々な体験・経験を重ねて多様な考え方を身に付けてください。

梅島 悠

農林水産技術会議事務局  
研究推進課 課長補佐(研究拠点班担当)  
H19入省 1種農学I

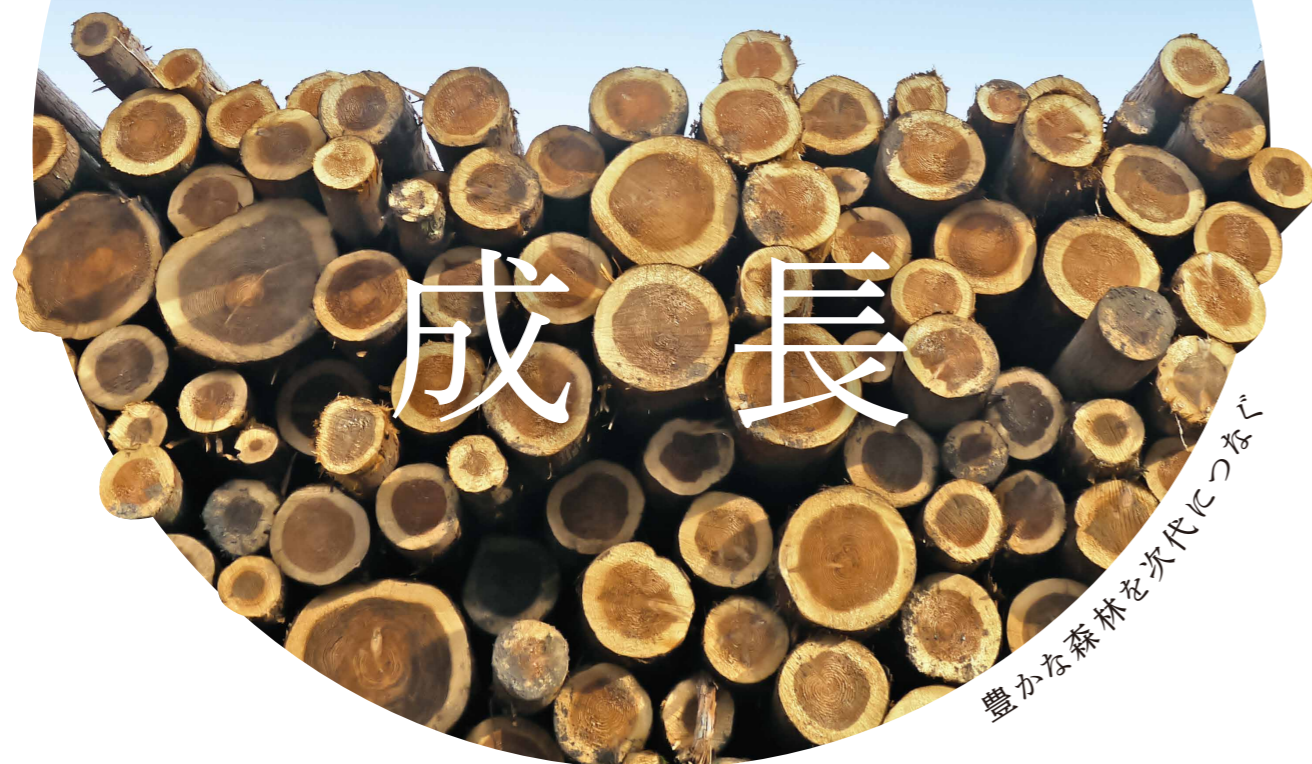


好きな食べ物は？和幸の「カツ丼」がおすすめです！

未来を拓く新たな技術を



# 革新



# 成長

豊かな森林を次代につなぐ

## 林野庁

先人の努力により造成された日本の森林資源は、今まさに本格的な利用期を迎えています。この豊富な森林資源を活用して森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を実現し、豊かな森林を次代に継承していくこと。それが、林野庁の使命です。そのために、CLT(直交集成板)をはじめとする新たな木質部材の利用を広め、これまで木材利用の少なかった中高層建築物などの幅広い分野で木材利用を促進すること。木質バイオマスのエネルギー利用や、改質リグニンといった先端技術を利用した新素材などによってニーズを拡大すること。そして、こうして拡大した需要に応えるため、高性能機械・ICTの導入による林業の効率化や、木材加工・流通施設設備など低コストかつ安定的な木材供給体制の実現に向けた施策を実行しています。

### 強く丈夫な森林を目指して

#### 仕事内容

崩れた山、荒れた渓流に治山ダムなどを整備し、健全な森林に戻す手助けをする治山事業を担当しています。豪雨や地震により毎年のように大規模な山地災害が生じる中、治山事業により森林を強く丈夫にすることで被害を防止・軽減し、安全で安心な暮らしを守ることは喫緊の課題です。全国の現場における事例や課題を収集・分析し、事業を円滑に回すための施策や予算を講じることで、災害に強い山々をつくるべく奔走しています。

#### 学生へのメッセージ

霞が関離れという言葉が耳にしますが、残業を減らす働き方や休暇を取りやすい雰囲気づくりは進み、昔よりも仕事がしやすい環境になったと感じます。国土の3分の2を緑豊かな未来にするために、一緒に考え、取り組みましょう。

#### 山名 佑樹

林野庁 森林整備部 治山課  
課長補佐(施設実行班担当)  
H17入省 | 種農学III



日豊高の  
日替わり二色  
蕎麦。量食とも  
です。

### 森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」

#### 木材利用課のミッション

日本では、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎える中、森林資源の「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を推進するために、国産材の安定供給と木材の需要拡大がとても重要になります。当課では、木材の需要拡大を図るため、建築物の木造化・木質化、木質バイオマス利用の推進、消費者への普及啓発、木材製品の輸出拡大等様々な場面での「ウッド・チェンジ」に取り組んでいます。

#### 入省の動機

大学では建築を専攻していました。大学時代に木造建築を学ぶために何った岐阜県中津川市加子母で、地元の方々から林業のお話を伺ったり、山の手入れを体験し、森林や林業に興味を持ったことが入庁のきっかけです。

#### 吉村 麻美

林野庁 林政部 木材利用課  
木造公共建築物促進班 新規用途係長  
H20入省 | 種林学



好きなおにぎりは  
さけです。

## 水産庁

我が国では近年、水産資源の減少や海洋環境の変化などにより漁獲量の減少が続いている一方、水産物の優れた栄養特性に対する評価の高まりもあることから、水産物の需要は世界的に拡大しており、我が国の水産業は大きな成長のチャンスを迎えています。こうした状況の中、水産庁では、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化の両立を目指し、70年ぶりの漁業法改正をはじめとした水産政策の改革を進めています。具体的には、科学的な根拠に基づく資源管理体制を構築するとともに、スマート水産業の実現、マーケットインの発想に基づく水産物の輸出促進や消費拡大、ウナギ等の人工種苗生産技術に代表される新技術の開発・普及、漁港の防災・減災対策を推進するための各種施策の推進や二国間、多国間の国際交渉にリーダーシップをとって対応しています。

### 水産資源の維持・回復に取り組む

#### 漁場資源課のミッション

水産資源を適切に管理するための資源調査・評価、赤潮や貧酸素水塊等の被害軽減といった漁場環境改善、国内外で関心の高まる海洋プラスチックごみへの対策、漁業被害をもたらす有害生物への対策等、水産資源の維持・回復に関する施策を実施しています。また、ワシントン条約(絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約)や生物多様性条約等に係る国際交渉も行っています。

#### 入省の動機

国内外で水産資源の持続的な利用及び管理について学びました。世界的に魚の消費が拡大する中、水産資源を持続的に利用し、これからは安心して魚を食べられるようにしていきたいと思い、水産庁に入庁しました。

#### 小川 太輝

水産庁 増殖推進部  
漁場資源課 国際係長  
H26入省 総合職農林科学・水産



好きな魚類の1つは  
マグロカツ  
です!

### 海洋生物資源を保存・管理する

#### 管理調整課のミッション

管理調整課では、漁業の指導及び監督、海洋生物資源の保存及び管理、遊漁漁船の発達、改善及び調整等を実施しています。そのうち、私が所属している資源管理推進室では、海洋生物資源の保存及び管理について、水産改革の推進(TAC魚種拡大、IQ管理導入、資源管理協定への移行等)、太平洋クロマグロの資源管理の推進、資源管理指針・計画体制の着実な実施と高度化に向けた検討等を行っています。

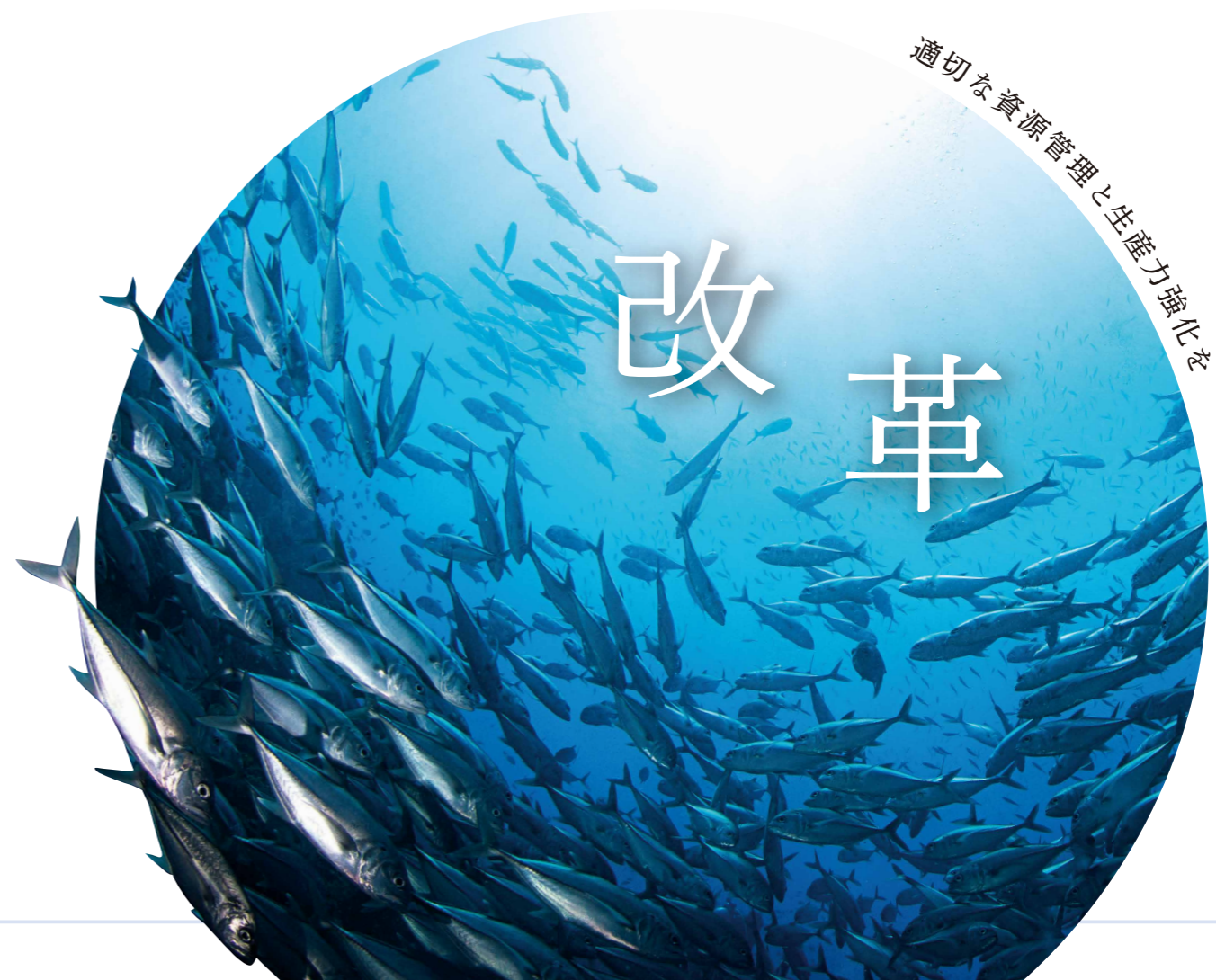
#### 特技

特技は、特徴の伝わりやすい絵を描くことです。図などを添えて説明をすることで、相手に伝えやすくなると思います。お昼になれば、日比谷公園へ行って生物スケッチをしています。

#### 吉永 未悠

水産庁 資源管理部  
管理調整課 漁獲情報班 係員  
R2入省 水産系技術職

好きな食べ物は?  
甘味だと、  
みたらし団子  
やマカロンが  
好きです。



適切な資源管理と生産力強化を

# 改革



# 課題を 実現するため 自分で考え行動

## 局長

農林水産技術会議 事務局 局長

青山 豊久

S63入省 | 種法律

### 入省の動機

就職活動の当時は好景気で、大学の同級生は銀行、証券、メーカーなどに就職していきました。一方、自分は営利を目的とする仕事よりも、困っている人たちの味方になるような仕事に魅力を感じ、霞が関を回りました。「食の安全性に興味があります」と官庁訪問で先輩との会話が最も自然にできた農林水産省に入れてもらうことになりました。

### 学生の方へメッセージ

霞が関の仕事は決して生易しいものではありません。転職したとき、外の世界で活かせるようスキルが身につくといい汎用性はありません。それでも国のため、誰かが必ず担当していなければならない仕事です。

農林水産省に関わることについて、私だったらこんな風に見える、効率的にできると自信のある人、全身全霊をかけて挑戦してみてください。歓迎いたします。



## 平成2年4月

高知県 梶原町役場(ゆすはらちょう) 産業経済課

入省3年目、千枚田での稲作体験を契機に、司馬遼太郎さんの『街道をゆく』にも登場した千枚田を保存したいという思いから、都会人に棚田で稲作を体験してもらう前代未聞の田んぼのオーナー制度を企画しました。四万十川の源流域にちなんで、100㎡で年間40010円の料金を設定。町の審議会では反対されましたが、新聞に掲載されると圧倒的な数の問い合わせが来ました。シャレの料金も話題となり、棚田の保全活動はこの後全国に広まることになりました。



## 平成4年5月

経済局 金融課 企画係長

入省5年目、認定農業者に長期低利の使いやすい資金を融通するスーパーL資金制度を創設する法改正に参加し、条文作成を担当しました。有機農産物が大好きだったこともあり、大規模農家だけでなく、小規模の有機で農作物を作っている方も対象に融資ができるような条文にしました。

## 平成7年1月

国土庁 阪神・淡路大震災対策 大臣特命室

入省7年目、阪神淡路大震災がおき、各省から1人ずつ集められた組織が国土庁に出来ました。私もそこに出向し、30万人の人が避難所に避難する中で、どうやって社会を復旧させるかなどに対応しました。各省から小里大臣特命室に情報を集めて会議をし、政府として何を発表していくか検討しました。当時PCは1人1台ない時代で、表計算データをファクスで神戸市から送ってもらい手入力していましたが、パソコン通信でデータを送ってもらえば入力作業が要らないことがわかり、個人パソコンをモデムで電話回線につなぎ、ファイルをやとりしました。

## 昭和63年4月

農林水産省入省  
(林野庁 林政部 林政課配属)

入省1年目、林政課(総務課)に配属されました。当時は課内に1台8インチディスクのパソコンがあるだけで、国会の答弁などを手書きで清書したり、林野庁内への作業依頼を担当したりしました。

## 略歴

## 平成19年7月

総合食料局 食品産業振興課 外食産業室長



入省20年目、外食産業室長として海外の日本食レストラン振興が輸出に繋がると考え、海外の日本食レストランの普及を推進しました。アメリカのレストラン格付け誌Zagatなどで取り上げられ、海外の日本食レストランで使う食材が多くなれば、輸出货量も増えると考え、ザガット夫妻と米国内の日本食レストラン特集版発行の調整を行いました。



## 平成12年4月

静岡県 農業水産部 水産統括監

入省13年目、静岡県庁に出向し、水産を担当しました。漁業の実際の状況を把握するため、夕方の6時頃に集合し、漁港に夜の11時頃に戻る漁船に乗り、サクラエビ漁に同行しました。漁の仕方によって魚の鮮度や価値が変わることや、漁獲するときに魚にストレスを与えると品質が悪くなること等、漁師さんの中に混じり状況を把握しました。



## 平成10年4月

大臣官房 企画室 企画官  
(農業基本法改正検討室)

入省11年目、官房企画室へ異動し、制定から約40年後の農業基本法の改正を担いました。農業基本法が制定された1960年当時は戦後まもない経済成長の時期で、過剰な農村の労働力を都市に移動させ農業者を減らすことで一人当たりの生産性を向上させるストーリーでしたが、社会の変化にあわせて法を見直すことになりました。法改正の議論の際、食生活の変化に左右される食料自給率を政策目標とすべきか否か、審議会でも議論は割れましたが、分かりやすいという理由で法律に位置づけることになりました。徹夜続きの各省協議、長時間の国会審議を経て「食料・農業・農村基本法」を成立させました。さらに、同じ部署に1年残って最初の食料・農業・農村基本計画も作成しました。

## 平成30年7月

農林水産技術会議 事務局 研究総務官

入省31年目、技術会議に来て2年間、スマート農業を推進しました。



## 令和3年7月

大臣官房 技術総括審議官 兼  
農林水産技術会議 事務局 局長

### 現職での役割

農林水産分野に関するSDGsを実現するための「みどりの食料システム戦略」や、人手不足を解消する担い手の減少など農業現場の様々な課題をロボット、AI、IoT等の先端技術で解決を図る「スマート農業」の推進を担当しています。人口が減少していく中で、一次産業の現場と消費者の認識をいかに近づけ、現場の社会的な問題を解決できるかなどに取り組んでいます。「食」は1億2千万人が毎日接する大事なことなので、その基盤を支えている農林水産業を日々考え工夫しています。



## 平成24年12月

総理官邸 参事官室 内閣参事官

### 官邸への出向

入省25年目、課長ポストを二つ経験後、第二次安倍政権のスタートと共に総理官邸へ異動し、官邸主導で長期政権を築いていく過程を間近で見ることとなりました。総理の国会答弁の対応など、深夜・早朝にワードを打ち、コピーを取り、ホチキス止め、階段を駆け上がる生活を約3年送ることになりました。政策を実現するため、政策をワンフレーズで相手に伝えることで多くの支持者を増やすことを学びました。



# 安心して暮らせる未来を生み出す

## 課長

農産局 地域対策官  
橋本 陽子

H6入省 | 種農芸化学

### 入省の動機

人が生きていくために不可欠である食料について、自給率の向上につながるような仕事がしたいと思い、農林水産省への入省を希望しました。



### 学生の方へメッセージ

農林水産省のビジョンステートメントを名刺の裏に印刷していますが、これをご覧になった生産者の方から、良いですね、自分も同じ気持ちです、と言われることがありました。「生命(いのち)を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命」とするというところに、共感を抱く学生の皆さん、ぜひ農林水産省と一緒に働きましょう。

## 平成8年4月

富山県 富山農業改良普及センター

入省3年目から、富山県富山農業改良普及センターに出向し、米・麦・大豆を担当する農業改良普及員として勤務しました。初めての現場経験で、右も左も分からず、農家さんから色々教えてもらうような状態でしたが、先輩普及員の皆さん、JAの営農指導員さんなど、多くの方にご指導いただき、充実した2年間を過ごすことができました。このときの経験が自分にとって大きな財産となっており、感謝しています。

## 平成6年4月

農林水産省入省  
(食品流通局 消費経済課配属)

JASマークの担当として主に食品企業からの問い合わせに対応。自分の言葉が農林水産省としての言葉になることや、国民の生活に密接に関わる仕事だということを実感し、重い責任を感じた1年目でした。

## 平成13年1月

生産局 果樹花き課  
果樹生産班 計画係長

## 平成10年6月

農産園芸局 畑作振興課 総括係長

入省5年目、富山から戻り農産園芸局に配属。課の窓口であり、連絡担当でもあり、国会も含めた全体の仕事に分かるポストでもあったので、年間の業務を一通り把握することが出来ました。

勤務時間が長くなり、大変ではありましたが、若いうちに経験できて良かったと感じています。

## 平成25年4月

消費・安全局 消費者情報官補佐  
(食育推進班)

農林水産省の食育は国内農業への理解を深めてもらう目的もあります。ごはんを中心に、日本各地の食材を多くつかった日本型食生活や食事バランスガイドの推進などに取り組みました。

食育表彰なども立ち上げ、全国で食育活動に取り組む人々を応援、サポートするような役割でしたが、国が声をあげるだけではなかなか成果も見えにくく、長期的に取り組んでいく必要のある課題だと感じました。

## 平成18年10月

生産局 農産振興課 生産専門官  
(内閣官房副長官補付  
内閣官房拉致問題対策本部事務局  
総合調整室併任)

## 平成16年1月

経営局女性・就農課 課長補佐  
(共同参画企画調整班)

農村の男女共同参画を進める女性・就農課課長補佐に就任。初めての補佐職でしたが、周囲の人々に恵まれて楽しく働くことができました。

強く印象に残っているのは、英語が出来なかったので拒否したかった国際会議に無理やり行くことになったことですね。つらい思い出です。一緒に行った他省庁の皆さんに助けていただきました。笑

## 平成14年4月

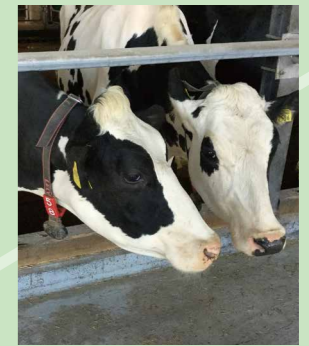
関東農政局 農村計画部  
資源課 地質官

関東農政局では、農村計画部資源課で、地質官として勤務しました。職種の交流ポストでしたが、現場では、史上初の女性地質官!と驚かれました(実は本物の地質官ではないのだと白状しがっかりさせてしまいましたが)。主に地下水調査を担当し、普段は行かないような山奥の地滑り地帯の調査で、山道のきつさに周りの職員についていけないことばかりでした。中山間の農地が適切に管理されることで、地滑り等の発生が抑制され、ふもとに広がる人里が守られているという構造がよく分かり、「農業の多面的機能」について、自らの理解も深まるポストでした。

## 平成28年4月

北海道農政事務所 生産経営産業部長

北海道農政事務所で、生産経営産業部長として勤務しました。在任中は、北海道の先進的な大規模農業に圧倒されることばかりでした。また、大規模災害が多発したことも忘れられません。関係機関・団体が連携し、これを乗り越えるべく対応しました。被災された農業者の皆さんが、一人も欠けることなく、営農を再開できるように、との関係者の強い思いを感じました。大規模洪水が発生した際には、沢山のじゃがいもがほ場で腐ってしまい、全国的に、ポテトチップスが無くなってしまふなど、食生活への影響も大きなものがありました。北海道農業は、まさに日本の食を守り、支えていることを実感しました。



11月15日はきものの日です。蚕糸に関係の深い絹製品である着物に象徴される、和の文化の継承につなげるため、この時期に合わせて、きもで勤務する取組を行っています。2021年の今年は初めて、オンラインシンポジウムも開催し、国産繭や絹製品の魅力について発信を行いました。



## 令和元年7月

生産局 農産部地域作物課  
地域対策官 兼 園芸作物課付

### 現職での役割

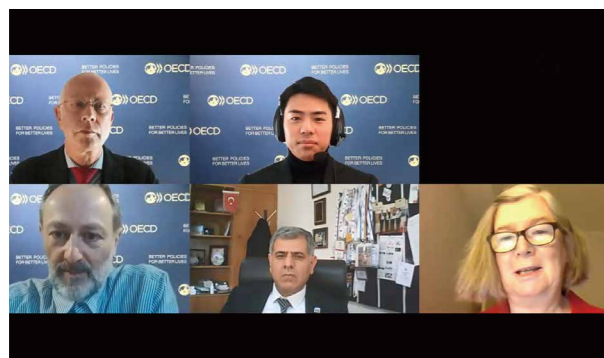
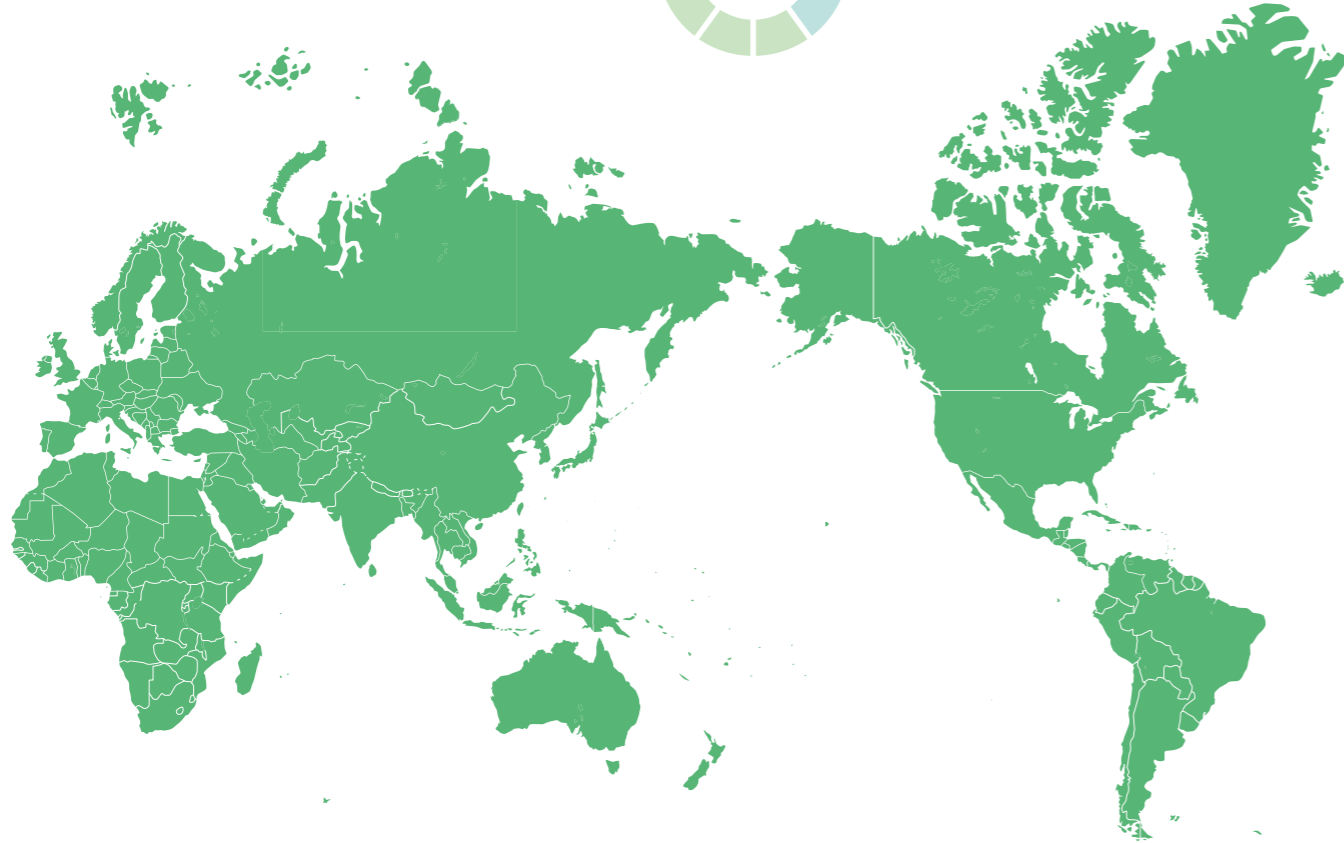
果樹・茶グループでは、果樹、茶、蚕糸、いぐさ、こんにゃくも、薬用作物等の振興を担当しています。品目はとても幅広いですが、地域経済・雇用の確保の観点からも重要なものが多く、それぞれの品目の担当者の責任はとても大きなものがあります。地域ごとに特色があり、それぞれの背景事情も異なるため、難しい面もありますが、その分やりがいも感じます。



# 世界を相手に躍動する



グローバルな視点を育み、  
よりよい未来に活かす。



## ① フランス 農林水産省から 世界を リードする

籠島 彰宏  
OECD環境局  
バイオセーフティチーム  
H25入省 総合職化学・生物・薬学

### 出向先での仕事の内容・役割、やりがいについて

OECDは一言でいえば「グローバルシンクタンク」です。その中で私は、遺伝子組み換え作物(GMO)やゲノム編集作物等の安全性評価に関する仕事を担当しています。各国の政府や研究者が参照できるように、各国の同僚と協力して、これまで世界で蓄積された知見等を収集して公開文書にしています。とはいえ、GMOやゲノム編集作物に関する姿勢は国それぞれで、各国の意見が合わないこともしばしば。各国譲れない事情もあったりして、その調整には毎回一苦労です。

### 海外勤務をして気づいた農林水産省の魅力

使命感を持って働ける、ということだと思います。国際機関で働くということは得難い経験であり、英語も含めて必ずその人の糧になると思います。しかし巨大なスケールの中で仕事をするからこそ、その分現場と遠く、その意義が薄弱に感じられてしまうこともあります。その一方で、農林水産省で働く、「日本をより良い国にする」という使命感は、中央官庁にいるからこそ強く感じられるやりがいだと思います。そんな使命感をひしひしと感じながら働ける職場は、ほかにそうはないと思います。

### 学生へのメッセージ

就活生だからこそ様々な説明会に足を運び知見を深め、その上で自分の適性や希望と真摯に真剣に向き合って、納得のいく選択をしてください。悩んで選んだ先は、どこであれあなたの期待に応えてくれると思います。そしてそれが農林水産省であれば嬉しいです。悩んでいる方は、ぜひ一度説明会や官庁訪問にお越しください。いつでも歓迎いたします。

### 現在の1日の 平均的なスケジュール

- 7:00 ● 起床、家族団らん
- 8:00 ● 2歳と1歳の子供に毎朝振り回されています。
- 9:00 ● 出勤
- 10:00 ● 各国の研究動向のチェックは必須ですが、主なソースはニュースです。英語の勉強にもなります。
- 11:00 ● 上司と各プロジェクトの進捗チェック
- 12:00 ● 昼食(食堂で各国の同僚たちと)
- 13:00 ● Zoom会議
- 14:00 ●
- 15:00 ● 担当プロジェクトの内容調整等
- 16:00 ● 現在5つのプロジェクトを持っています。各国の同僚とメールで相談したり雑談したり。
- 17:00 ●
- 18:00 ● 帰宅、家族団らん
- 19:00 ●
- 20:00 ●
- 21:00 ● Zoom会議
- 22:00 ● 時差の関係で真夜中の会議を行うこともあります。
- 23:00 ●
- 24:00 ● 就寝

## ② フランス



## 日本食の プレゼンスを高め、 輸出拡大を目指す

西尾 友宏

独立行政法人日本貿易振興機構  
(JETRO) パリ事務所駐在員  
H21入省 1種法律

### 出向先での仕事の内容・役割、やりがいについて

日本産の農林水産物や食品の輸出拡大のため、マーケット情報の紹介、規制対応支援、バイヤーとのマッチング、日本食のPRによる市場開拓など多種多様な支援を実施しています。世界の食文化の中心として、ここフランスのマーケットの存在感はとて大きく、世界中から様々な食品が集まります。そのような最高峰の舞台上、日本食のプレゼンスを高め、日本の農林水産物や食品を広く普及させていくことができれば、農林水産物や食品の輸出は大きな産業になると信じています。

### 出向先でのエピソード

ここフランスでも、今やマンガやアニメと同じように、普段から日本食を楽しむ方々が増えています。現地にローカライズされた(あっと驚くような)ラーメンを楽しむ若者から、美容のために日本酒を嗜むマドモアゼル、我々よりも和牛への深い造詣を持つムッシュまで、本当にたくさんの方々に浸透しており、日本食文化の裾野の広さを実感しています。新型コロナの影響で健康志向が高まっている今、健康的とのイメージがある日本食には今まで以上のチャンスが広がっていると思います。

### 学生へのメッセージ

農林水産省を一言で表現すると「多様性」だと思います。一次産業の枠にとらわれない政策のフィールド、地方から世界まで広がるキャリアパス、そして個性豊かで様々な専門領域を持つ同僚たちなど本当に多様性に溢れています。一方で、我々が扱う「食」というテーマは世界中の全ての人にとって普遍的なものであり、日々様々な課題に直面しています。多様性をもって、普遍的な課題を解決していく。農林水産省は、一生をかけるに値する刺激的な職場だと思います!

- 平成21年4月 農林水産省入省  
(消費・安全局総務課配属)
- 平成22年4月 消費・安全局消費・安全政策課
- 平成22年12月 消費・安全局農産安全管理課
- 平成23年6月 生産局畜産部食肉鶏卵課
- 平成23年11月 生産局畜産部食肉鶏卵課  
兼生産局畜産部畜産振興課
- 平成25年3月 生産局畜産部食肉鶏卵課 兼  
復興事務官(統括官付参事官付主査)
- 平成25年4月 復興庁統括官付参事官付主査
- 平成27年4月 長野県南佐久郡川上村企画課  
地方創生推進幹事政策調整室長
- 平成28年4月 長野県南佐久郡川上村  
副村長兼政策調整室長
- 平成30年4月 消費・安全局動物衛生課  
課長補佐(総括及び総務班担当)
- 期間併任:令和2年6月16日～令和2年7月3日  
大臣官房秘書課付
- 令和2年8月 大臣官房文書課課長補佐  
(総合調整班担当) 兼  
大臣官房法務支援室付
- 令和3年6月 独立行政法人日本貿易振興機構  
(パリ事務所駐在員)

## ③ ハンガリー



## 二国間の円滑な 関係を守り、 情報を発信する

國兼 洋平  
在ハンガリー大使館  
二等書記官  
H15入省 II種行政

### 出向先での仕事の内容・役割、やりがいについて

在ハンガリー大使館で経済班を担当し、国内経済、二国間貿易・投資、インフラ・エネルギー関連等の情報収集、ハンガリー政府とのやりとりから日本企業支援まで、幅広い仕事を行っています。また、日本の農林水産物の輸出促進にも取り組んでおり、日本食料店のオープンを大使館のフェイスブックで伝えたり、日本茶販売店とともに天皇誕生日レセプションで日本茶をPRしたりしています。自分の仕事によって、より多くのハンガリーの方々を日本産品などの情報に到達することにやりがいを感じています。

### 出向先でのエピソード

一日に何度か、人々は必ず食事のこと、美味しいもののことを考えます。農林水産省の魅力は、世界中の誰しもが喜びを感じる「食」に関する仕事ができることだと思います。私は大使館の経済班ですが、「農業アタッシュ」でもあり、誇りを持って名乗っています。食の話題ではハンガリー政府関係者も皆笑顔になります。「ブダペストで美味しい日本食レストランは何処?」「日本食材は何処で買える?」「寿司を自分で作るには何が必要?」と目をキラキラさせて話すハンガリーの人々と友好関係が築けないはずがありません。

### 学生へのメッセージ

海外勤務のチャンスがあることは国家公務員の魅力の一つだと思います。農林水産省では、国際交渉や輸出促進、国際的・二国間での協力など、多くの海外業務があり、それを担う人材を求めています。また、落ち着いて、人と自然を想う職員が多いような気がしています。皆さんに良い出会いがありますことを祈念しています。

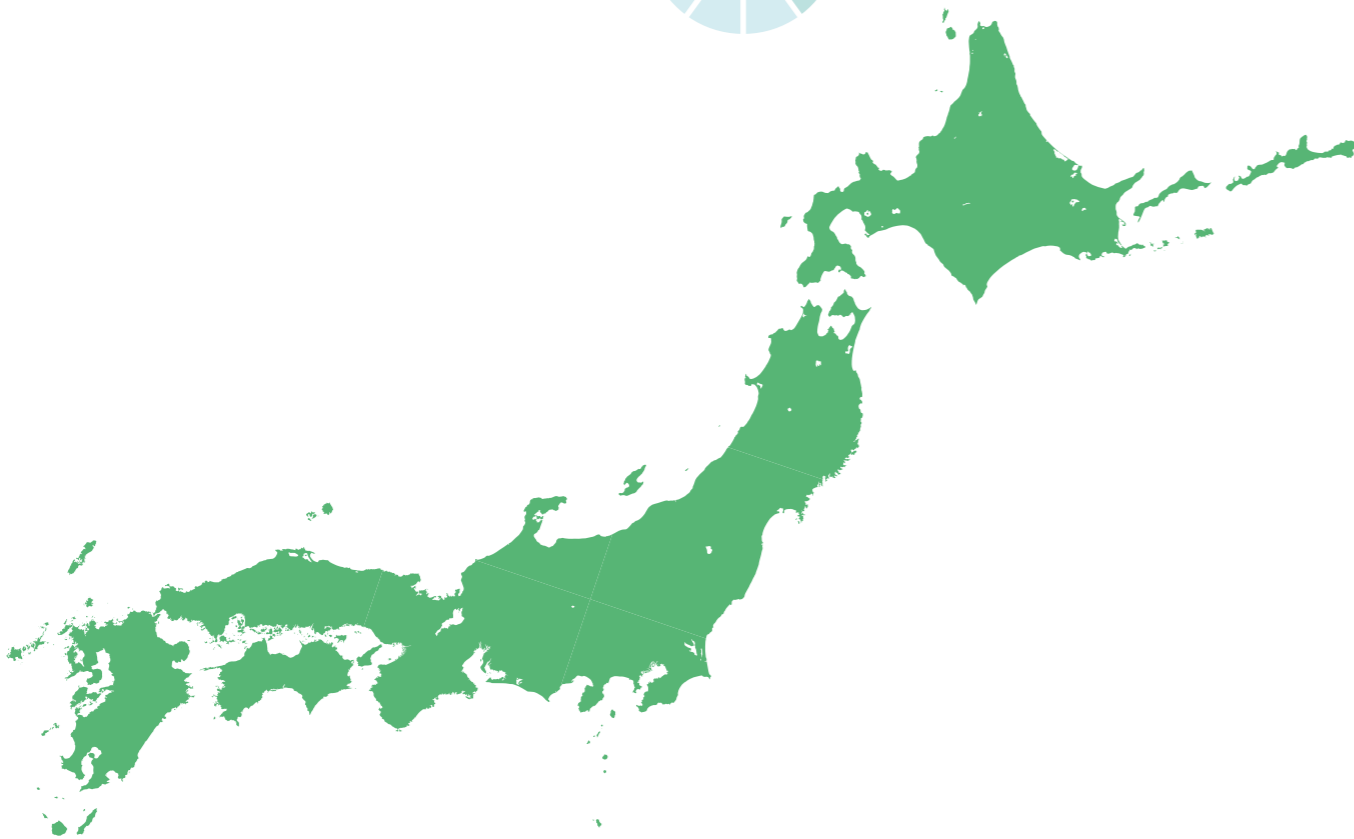
### 現在の1日の 平均的なスケジュール

- 5:30 ● 起床
- 6:00 ● 出勤前にハンガリー及び日本の報道を確認します。
- 7:00 ● 朝食
- 8:00 ● 子どもを学校へ送ります。
- 8:00 ● 出勤
- 9:00 ● 公電・メールの確認や秘書との打ち合わせを行います。
- 10:00 ● 企業ヒアリングや関連報道の
- 11:00 ● 関係各所への報告
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 語学の勉強
- 14:00 ● ハンガリー政府関係者への働きかけや会合
- 15:00 ●
- 16:00 ● 報告書の作成、館内説明、関係者への共有
- 17:00 ●
- 18:00 ● 退館 家族と夕食・団らん。
- 19:00 ●
- 20:00 ●
- 21:00 ●
- 22:00 ● 就寝
- 22:30 ●

# 地方の価値を創生する



ローカルの魅力を見出し、  
新しい活力につなげる。



### 1 岡山県真庭市

## 林業を中心に「世界」と「現場」を結ぶ

石井 裕隆  
岡山県真庭市 産業観光部  
林業・バイオマス産業課長  
H27入省 総合職法律

#### 出向先での仕事の内容・役割、やりがいについて

真庭市は、木質バイオマス発電所を中心に「木を使い切る」システムのまちとして全国的に有名です。私はそこで「林業」「バイオマス」を担当する課の課長をしています。カーボンニュートラルの達成に向けた国際的な潮流の中で、森林の適切な整備・更新による「吸収源対策」と、再生可能エネルギーの普及をはじめとした「排出削減対策」を併せて行うことで、林業を中心とした地域経済の活性化を図りたいと考えています。「世界」と「現場」を結びつける仕事のダイナミズムにやりがいを感じています。

#### 出向先でのエピソード

令和3年11月に開催されたCOP26のサイドイベントに真庭市長がWeb参加し、真庭市の木質バイオマス発電所を中心としたシステムと脱炭素に向けた取組を世界に向けて発信しました。このイベントでは、各国地域の先進的な取組についても紹介され、近年激化する災害を受け、「市民の問題」としてとらえて取り組む姿勢に感銘を受けました。地球温暖化という世界で共有する大きな課題に対応していくためには、地域経済の発展との両立により市民的な理解を醸成することが不可欠であると再認識しました。

#### 学生へのメッセージ

魅力ある地域を増やすことは、そこに住む人々のみならず、都市部で生きる人々にも不可欠です。多くの地域では、農林水産業が経済の「核」となっています。農林水産省は、これを活性化し、地域の個性を彩る政策を考え、今後の我が国の未来を形作る、やりがいある仕事ができる職場です。地域に思いのある方、ぜひ職員と話し、現場に根ざした魅力を感じてください。

#### 現在の1日の平均的なスケジュール

- 7:00 起床
- 8:15 出勤 朝礼 新聞や決裁書類の確認、課内の職員と情報共有
- 9:00 民間企業と打合せ
- 10:00 スマート林業の実証に関心のあるIT系企業とWebミーティング
- 11:00 林業事業者と意見交換
- 12:00 昼食 木質バイオマス発電所への燃料調達システムについて
- 13:00 市役所隣接の社会福祉系の食堂。安くて美味しい、唐揚げがおすすり
- 14:00 市長・副市長との打合せ
- 15:00 カーボンニュートラル実現に向けた対策の方針について
- 16:00 皆伐現場を視察
- 17:00
- 18:00 退勤
- 19:00 家族と食事
- 20:00
- 21:00
- 22:00
- 23:00 就寝
- 24:00

### 2 鹿児島県鹿屋市

## 地域に密着し市民の生活をささえる

鈴木 健太  
鹿児島県鹿屋市 副市長  
H16入省 種農学Ⅰ



#### 出向先でのエピソード

農林水産関係に加えて、上下水道やスポーツ振興、環境政策、健康づくりと幅広く市民生活に関わる業務に携わっています。新型コロナウイルスワクチンの集団接種業務などにも執務しており、手探りで毎日の業務改善を積み重ね、地域の方に喜ばれるような環境づくりに努めています。

メディア出演後には、地域の方から、ラジオを聞いたよ、新聞に載ってたねと声をかけていただいたり、小学校でのダンスレッスン後の授業参観では子供たちからお礼をされたりと、地域の方々と身近な関係に居られるのが醍醐味です。

#### 地方勤務の経験をどう生かしていきたいか

これまで県、農政局、基礎自治体と様々なタイプの組織で、また、北陸、中国四国、九州と色々な地域で仕事をしてきました。おかげで、第二の故郷をたくさん持てましたし、これまで出会った方々が気軽に相談できるようなハブになれば良いと思っています。

これからも、もっと色々な土地や人を知り、それぞれの良さ・強みを伸ばしていけるような地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。

#### オフで夢中になっていること

子供たちは、長期の旅行だと思って楽しもうと話しており、家族同伴で出向しています。週末は地域内、県内含めて色々な所を巡るようにしており、自然と触れ合える環境なので、アウトドアアクティビティを楽しみながら、地域の美味しい食べ物を満喫しています。行きたいところ、食べたいものが多過ぎて、多忙な日々を過ごしています(笑)

### 3 長崎県川棚町

## 作り手に近い場所で農業を守る

菊地 理沙  
長崎県川棚町 産業振興課  
農林水産係主事  
H30入省 総合職法律



#### 出向先での仕事の内容・役割、やりがいについて

米の需給対策や農地保全に関する事業の運営を主に担当しています。町内の農地を巡回したり、農家さんと作柄や農作業のこと、農政のことなどについて話す機会が多く、現場に接しながら仕事ができとても嬉しいです。その他にも、海底耕うんや稚ナマコの放流の立会のために船に乗ったり、インシシ対策のためのワイヤーメッシュの設置の研修を受けたり、小学生へ町の特産品の授業をしたりと、幅広い分野に携わることができ、毎日とても充実しています。

#### 出向先でのエピソード

縁もゆかりもない町だと思っていましたが、東日本大震災の後、この町の給水車が1300km離れた私の地元のまちまで駆けつけたという話を聞き、不思議な巡り合わせを体験しました。震災から10年が経っているのに、こんな離れた土地なのに、3月11日には町にサイレンが鳴り響き、黙とうを捧げてくれています。この町の皆さんに、当時の恩返しをしたいと思うと同時に、日本のどこの方にも恩返しができる国家公務員になってよかったと思った出来事でした。

#### 学生へのメッセージ

元々各地を巡ることが好きでしたが、入省後は旬の食材や特産品だけでなく、通りかかる田畑や漁港にも興味が向き、休日の外出が更になりました。就職活動をする際は「ここで働いたら人生楽しくなりそう」という視点があっても良いと思います。さまざまな角度から考えて「農林水産省で働きたい」としてもらえたら嬉しいです。

#### 現在の1日の平均的なスケジュール

- 6:10 起床 英会話 通学路の安全確保の為、地域の方と一緒に旗持ち
- 7:15 交通安全立哨
- 8:10 出勤
- 9:00 上下水道関係打合せ 公共下水道料金見直しに関する協議
- 10:00 市内農業者との意見交換 さつまいもの病害の発生状況と対策について現地で意見交換
- 11:00
- 12:00 昼食 夜の会食機会がコロナ禍で減っている分、お昼は自転車でも色んなお店を回り、飲食店を応援
- 13:00
- 14:00 小学校訪問 ポッチャ、車いす乗車体験を通じてバラスポーツの普及啓発をしています
- 15:00
- 16:00 保健福祉関係打合せ 医療的ケア児の支援策について協議
- 17:00 退庁 夕食 子供たちと夕食作り
- 18:00
- 19:00 ランニング 毎日10キロ走って、たくさん摂取したカロリーを消費しています(笑)
- 20:00
- 21:00 オンラインミーティング 公務員コミュニティでの勉強会に参加
- 22:00
- 23:00 就寝
- 24:00

#### 現在の1日の平均的なスケジュール

- 7:00 起床
- 8:00 出勤 始業 メールチェック
- 9:00 事務作業 各機関から届く郵便物の受付処理、農家さんに提出してもらった書類や県へ提出する書類の作成などをします。
- 10:00
- 11:00
- 12:00 昼食
- 13:00 外出 相談会 農業・税理士・振興局を囲んで経営状況や節税対策、国・県の事業について情報交換します。
- 14:00
- 15:00 帰庁・報告書作成 事務作業 課内全員時間内で仕事を終わらせる意識が高く、ほぼ全員定時で帰ります。
- 16:00
- 17:15 退庁
- 18:00
- 19:00 ボートレース大村へ 車で40分ほどのところにボートレース発祥の地があり、職場のボートレースファンと観戦に行きます。
- 20:00
- 21:00
- 22:00 帰宅
- 23:00
- 24:00 就寝

# 他省庁での活躍

省庁の垣根を超えた連携の強化を図り  
広い視野を持つ人材を育成する

## 総理官邸



## 総理の方針の下、 農林水産改革を 前に進めていく

**川本 登**  
内閣官房 内閣参事官  
H8入省 | 種法律

### 出向先での仕事の内容・役割、やりがいについて

農林水産業・農山漁村が潜在力を発揮し、我が国の成長につなげられるよう、内閣を挙げて農林水産改革に取り組んでいくため、行政の長である総理に内閣の重要課題に関するご判断を頂くとともに、総理に語り掛けて頂く言葉を創ることが、「官邸」でのミッションです。政策は、一つ一つの判断を積み重ね、かたちにしていくものですから、私に関わるのはそのごくごく一プロセスにすぎませんが、農林水産行政に関わるすべての職員が熟慮し練り上げた改革を、内閣の方針としていく。そんな想いで緊張感溢れる日々を過ごしています。

### 出向先でのエピソード

「官邸」生活スタートから3か月、内閣発足直後の代表質問はコメ政策に加え、農政の基本姿勢や、新型コロナで苦しむ飲食業支援が問われる場となりました。総理に、自らのお考えをどう言い表していただくか、短い時間の中、農林水産省の担当の方々と考え抜いた言葉を総理から発信して頂くのが醍醐味です。重要政策が動く瞬間を官邸から目撃しながら、総理の方針の下、政策を企画・調整・実行する農林水産省の皆さんが、農林水産改革を前に進めるサポートをすることを日々模索しています。

### 学生へのメッセージ

入省後、何回も「しびれる」経験をさせて頂きながら、25年が過ぎました。悩むこともありますが、入省の決断が間違っていたとは思いません。農林水産行政は、解決すべき課題が多く、挑戦しがいのある分野です。農林水産政策改革を前に進め、「食」と「環境」を未来の子どもたちに継承していく為、皆さんとともに日々課題に取り組めるよう期待しています。

- 平成8年4月 農林水産省入省 (食品流通局 総務課配属)
- 平成10年1月 食品流通局 総務課 兼 市場課
- 平成10年7月 公正取引委員会事務局 経済取引局企業結合課
- 平成10年10月 公正取引委員会事務局 経済取引局企業結合課情報産業係長
- 平成12年6月 食品流通局 総務課 企画係長
- 平成12年7月 米国コーネル大学、ペンシルベニア大学留学
- 平成14年7月 林野庁 林政部 林政課総務係長
- 平成15年7月 林野庁 森林整備部整備課 森林土木専門官兼林政課 水産庁 資源管理部 管理課 課長補佐 (総括)
- 平成17年5月 在アメリカ合衆国 日本国大使館 二等書記官
- 平成18年4月 在アメリカ合衆国 日本国大使館 一等書記官 大臣官房 秘書課付
- 平成20年7月 消費・安全局 動物衛生課 国際衛生専門官
- 平成20年8月 消費・安全局 動物衛生課 課長補佐 (総括及び総務班担当)
- 平成23年7月 消費・安全局 総務課 課長補佐 (総括)
- 平成24年8月 大臣官房 秘書課 監査官
- 平成26年7月 大臣官房 秘書課 調査官
- 平成27年8月 内閣官房 内閣総務官室企画官 兼 内閣官房 内閣人事局企画官
- 平成29年7月 消費・安全局 消費者行政・食育課長 生産局 畜産部 競馬監督課長
- 令和元年7月
- 令和3年7月 内閣官房 内閣参事官

# 経験者採用

多彩な経験を活かし、  
食の未来に新しい風を起こす。



## 文章の力で 「わかりやすい」 施策を生み出す

**佐藤 一絵**  
農村振興局 総務課長  
H20年入省 経験者採用 (係長級 (事務))

### 仕事の内容・役割、やりがいについて

農村振興局が担当している農地や農業水利施設の整備、農村の活性化のための施策が円滑に進むよう、必要な予算額の確保や局内全体の業務進捗管理をリードするのが主な仕事です。「線の下力持ち」的な存在ではありますが、農林水産省だけで行う業務ばかりではなく、他省庁や地方公共団体、民間企業等の幅広い関係者と連携して施策を進める必要がある分野も多く、そのコントロールタワーとして広い視野と情報収集力が求められる、とても重要な役割を担っていると自覚しています。

### これまでの仕事の経験と現職での活用について

どの業界にも固有の「職業文化」がありますので、用語や様々な作法など、慣れるまでは大変でしたが、比較的すぐに身に付けることはできると思います。前職では地方新聞の記者を12年半、出版社の編集者を2年半経験しました。霞が関の仕事の多くは、「文章を作る」ことが占めています。どんなに良い施策を産み出しても、実際に活用していただく農業者や市民の皆さんに理解されない意味がなく、わかりやすく正確に伝わる文章力が必須である中では、メディア業界でそうした文章を作る仕事をしてきたことは、大いに役立っています。農林水産省の発信力の向上にこれからも貢献していきたいと思っています。



## 生産現場での 経験を活かし 職務に取り組む

**佐々木 敏晃**  
農産局 穀物課 課長補佐 (豆類班担当)  
H24入省 経験者採用試験 (係長級 (技術))

### 仕事の内容・役割、やりがいについて

国産大豆、小豆、落花生等の生産、流通及び消費の増進を担当しています。関係者からは、「豆班長」と呼ばれるポジションで、国民生活に必要な不可欠な食料を所管する農林水産省ならではの呼び名だと思っています。日本の豆類の振興にとって重要な役割を担っており、日々、関係者の皆様方から叱咤激励をいただきながら職務に邁進しているところです。そこが今の仕事の難しいところであり、面白いところでもあります。

### これまでの仕事の経験と現職での活用について

入省当初は戸惑いましたが、いわゆる霞が関用語や習慣の違いにも今は随分慣れました。また、仕事の性質上、言葉一つ一つの重要性が大きく、文章の作成には入省前とは比べものにならないほど気を配らねばなりません。入省までは、農産物の生産現場に近いところで仕事をしていました。農林水産省は現場主義を重視しており、官公庁の中でも現場に近いところであると思いますが、仕事柄、毎日現場に出るということは困難なのが実態です。情報収集の手段としては、関係者の方々に事務所での面会や電話などで意見交換をさせていただくことが多いのですが、生産現場等で経験してきたことがあるからこそ、スムーズに意見交換や情報収集が進むといったことがあると感じています。

### 中途採用を検討されている 方へのメッセージ

私たちの生命を支える「食」、その未来を導くために必要な施策を構築していくという農林水産省での仕事は、難しさもありますが、やりがいにあふれています。時代の変化を見通し、社会の多様なニーズも踏まえて行う政策づくりは、民間での幅広い経験が活かせる場だと実感していますので、仲間になってくれる方をお待ちしています。

- 平成20年4月 農林水産省入省 (総合食料局 計画課 国際班 国際第一係長)
- 平成21年12月 総合食料局 総務課 管理官
- 平成22年7月 水産庁 加工流通課 課長補佐 (技術)
- 平成24年4月 水産庁 漁政課 課長補佐 (総括)
- 平成26年4月 経営局 就農・女性課 女性・高齢者活動推進室長
- 平成28年4月 経営局 就農・女性課長
- 令和元年7月 政策統括官付 農産企画課長
- 令和3年1月 農村振興局 総務課長

### 中途採用を検討されている 方へのメッセージ

ここをご覧になっている方々は、様々な理由で、農林水産省職員というものを将来の選択肢の一つに考えていらっしゃるのだと思います。私もかつてはその一人でした。日本の農林水産省の役に立ちたいという思いが少しでもあるのであれば、農林水産省職員というのには有力な選択肢の一つだと思います。是非一緒に日本の農林水産省の一翼を担っていきましょう。

- 平成25年4月 農林水産省入省 (生産局農業環境対策課 地球温暖化対策推進班 指導調査係長)
- 平成27年4月 環境省水・大気環境局 水環境課 排水管理係長
- 平成29年4月 東北農政局 生産振興課 課長補佐 (土地利用型農業)
- 令和2年4月 農林水産技術会議事務局 研究調整課 研究専門官
- 令和3年4月 政策統括官付 穀物課 課長補佐 (豆類班担当)





江澤さんの一日

霞ヶ関までは  
電車で30分

- 8:00 起床・朝食
- 8:50 家を出発
- 9:20 登庁  
メールチェック
- 10:00 課内に作業依頼
- 10:00 輸出事業者とオンライン打合せ
- 12:00 昼食  
昼食はお弁当を持参
- 15:00 商談会に  
随行
- 20:00 退庁
- 20:30 帰宅・夕食、  
お弁当作り
- 24:00 就寝



課内に作業依頼



輸出事業者とオンライン打合せ

### 日本の強みを生かした 海外販路の開拓支援を行う

江澤 永倫子

輸出・国際局 輸出企画課 総務班総括係  
H30入省 総合職農林農村工学

#### 仕事内容

農林水産物・食品の輸出額を2025年に2兆円、2030年に5兆円とする目標の達成に向け、政府一体となって輸出促進に取り組んでいます。人口減少により日本の食市場が縮小する一方で、世界の食市場の規模は大きく拡大することが見込まれており、国内生産を維持するためにも、日本の強みを生かした輸出拡大が重要です。私はその中で、海外販路の開拓支援を行う課に所属し、省内外の関係部局との調整を担当しています。

#### これまでで1番印象に残っている仕事

農林水産省では、2020年末に「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」、2021年春にそのフォローアップを首相官邸で開催する輸出関係閣僚会議で取りまとめ、2021年末に改訂を行い、現在、これらの対応策の実現に向けて取り組んでいます。こうしたスピード感のある方針決定と支援策の実現に携わったことが今後の業務遂行に大きく役立つものだと感じています。



12:00

#### 昼食

昼食はお弁当を持参



15:00  
商談会に  
随行



#### 入省前後でのギャップ

私はルールメイクに携わりたい、多くの人に裨益する仕事がしたいという想いで入省しましたが、実際は輸出額5兆円という大きな目標も輸出事業者さん一人一人の取組の積み重ねであるため、事業者さんから直接話を伺う機会を頻りに作り、一つ一つの困りごとを解決することで全体の環境を良くしていくという現場にも近い職場でした。



### 生産基盤の強化から輸出まで 企画立案や調整を担う

野村 悠花

畜産局 総務課  
H28入省 総合職法律

#### 仕事内容

令和3年7月1日の組織再編により約20年ぶりに局として再スタートした畜産局の総務課に所属し、畜産生産基盤の強化、持続的畜産物生産の確立や畜産物の輸出拡大等の目標に向けた施策の企画立案や連絡調整を行っています。畜産局の組織の一員として、業務を適切かつ円滑に行うためには、関係者と議論を重ねる中で形を作っていくことが重要だと感じています。

#### これまでで1番印象に残っている仕事

温室効果ガス等の畜産業に起因する環境負荷の軽減に資する研究の推進等に関して、研究機関と畜産局との意見交換会の企画に携わりました。普段は省内の関係部署と畜産政策に関する総論的な内容の調整を行う業務が中心ですが、当該意見交換会のような場で、具体的な問題の所在や対策の実現可能性について議論を行いながら、課題解決に向けて自分の頭で考えることも非常に重要だと感じています。



15:00

#### 他省庁担当者との 連絡調整



17:00

#### 上司に対して 畜産局内とりまとめ 内容を説明

作成した資料について畜産局長へ報告し、改善点について指摘を受ける。



18:30

他省との共管省令について担当課から相談



#### 入省前後でのギャップ

入省前は、農林水産業の担い手のほとんどは高齢者というイメージがありましたが、入省後、現場訪問やイベント出席などを通じ、新しい取組を行う元気な若手農業者も多くいらっしゃることを実感しました。同世代の女性で、農林水産業に関する高い専門性を有する経営者として活躍されている方が全国に多数いらっしゃるの、自分も農林水産省での業務にしっかりと取り組みたいと思います。

野村さんの一日



霞ヶ関までは  
電車で50分

- 8:00 家を出発
- 9:30 登庁 (時差出勤)
- 10:30 生産現場等との  
意見交換会の運営
- 12:00 昼食  
キッチンカーでお弁当購入
- 18:00 オフで夢中になっていること
- 20:00 退庁
- 21:00 帰宅
- 21:30 夕食
- 25:00 就寝



12:00

#### 昼食

キッチンカーでお弁当購入

#### オフで夢中になっていること

大学時代から弓道を続けており、健康管理を兼ねて、休日は自宅付近の市民スポーツセンター等の弓道場で弓を引いています。自由練習を行うこともあれば、射会に参加して複数の利用者との中数を競うこともあります。社会人になって練習量が減ったこと、筋力・体力が落ちたことから、更なる鍛錬が必要であると感じています。また、練習や射会を通じて職場以外の幅広い年代の方と話すことができ、良いリフレッシュになります。



お昼ご飯は?  
キッチンカーでお昼ご飯を買って、日比谷公園で食べるのが好きです。皇居の方までお散歩してから帰ります。

畜産局  
総務課  
黒柳 葉菜子  
R3入省  
総合職法律



趣味は?  
趣味は植物観察と一眼レフです。土日はカメラを片手に、身近な植物の写真を撮って回っています。

林野庁  
森林整備部  
計画課  
木村 祐貴  
R3入省  
総合職森林・自然環境



学生へのメッセージ  
多様なフィールドで、一緒に日本の農林水産業を支えましょう!

輸出・国際局  
国際地域課  
香月 優佑  
R3入省  
一般職行政



好きなおにぎりの具は?  
私のお気に入りには、おかかおにぎりです!

大臣官房  
秘書課  
竹内 佳穂  
R3入省  
一般職行政



好きな食べ物は?  
パンが好きで、いろいろなパン屋さんを巡ってお気に入りを探しています。

消費・安全局  
食品安全政策課  
押川 妃乃  
R3入省  
一般職農学



特技は?  
入庁してから魚をさばけるようになりました!

水産庁  
漁港漁場整備部  
計画課  
菊池 薫和  
R3入省  
総合職工学



# 新人職員アンケート

令和3年度入省の新人職員たちは農林水産省で1年を過ごし、どんな思いを抱いているのでしょうか。就職活動をしていた頃の話や今の職場で感じていることをお聞きました。

## Q1 農林水産省志望の決め手は何でしたか?

- 私自身が田舎で生まれ育ったので、自分の故郷も含め地方がその良さを維持したままもっと元気になってもらいたいと思い、その一助になりたいと思い入省を決めました。
- 食べることが好きだからです。
- 人の命の根源である「食」について、多角的な視点で関われることです。
- 業務説明会や官庁訪問等でお会いした職員さんの雰囲気です。穏やかさの中に情熱が感じられ、一緒に仕事がしたいと思いました。
- 農産物の生産過程だけではなく、流通から消費に至るまで農業に幅広く関わることのできる環境に魅力を感じたからです。
- 学生時代に学んだことのみならず、興味関心のある業務に広く携われると感じたことが決め手です。
- 日本の農業の最先端の技術や政策について触れることができると思い、入省を決めました。
- 輸出や国際協力など国際的な側面も持ちつつ、農業・林業・水産業それぞれの業界の現場があるという側面もある省庁に惹かれたことです。

## Q2 職場の雰囲気は?

- 全国各地出身の職員がいて、職員それぞれに個性がある職場だと感じています。各地の故郷の思い出話を聞くのがマイブームです。
- 厳しい上司も多いが、真摯になってくれる上司も多いです。
- 聞こえてくる雑談の内容が面白い。また、業務の中でわからないことを相談すると、皆さん根気強く付き合ってくれるので安心して仕事ができます。
- 思ったより明るく、笑い声にあふれています。
- 不明点がすぐに聞ける環境にあり、1を聞いたら5、6倍になって返答があるので、日々勉強になります。
- 小さな迷いや不安でも、躊躇わずに相談できます。寧ろ、そうしたことが求められる雰囲気です。
- 緊急の案件などで時に緊張感が走ることはありますが、基本的には冗談が飛び交う楽しい職場です。

## Q3 仕事面でのやりがいは?

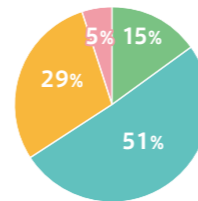
- 少しずつ自分のなかの知識が増えて、1人でできる仕事が増えることにやりがいを感じます。
- 自分の関わっている仕事に関することがニュースや新聞で取り上げられているのを見たときに、少しでも自分が役に立っていると実感するときです。
- 本省・局・機関の職員や大学教授など、様々な立場の方が係わる重要な業務に貢献できることにやりがいに感じます。
- 国際会議、大臣会見想定といった規模の大きい仕事に携われることはプレッシャーもありますが、その分やりがいもあります。
- 自分が発展させたいと思う産業に対し全国スケールで支えていく業務の一端を担えることです。
- ニュースでとりあげられるような問題に関わる仕事ができること。自分の仕事が農林水産物の生産・流通に影響していることが実感できます。
- 同行した幹部説明で、上司が自分が作成した資料を用いて説明しているのを見ているときには自身の成果を強く感じます。
- 小さな仕事でも、国民の方々を助ける礎になり、そして今の経験が将来大きな仕事をするときに役立つだろうと思えることです。
- スマート農業など最新の農業事情に触れられて興味深いです。

## Q4 入省前と入省後のギャップは?

- テレワークの推進や休暇の積極的な取得など、職員一人一人の働き方をより大切にしていると感じました。
- 決まり切った仕事が多いと思っていましたが、1年目から多様な業務に関わる機会があります。
- 省内外で関わる方々が多く、想像していた以上にコミュニケーション能力や物怖じしない姿勢が必要であることが分かりました。
- より専門的な知識が必要なのかと心配していましたが、丁寧に教えてもらえるのでプレッシャーを感じずぐに働けます。
- 入省前より、言葉の使い方を大事にしている印象が強くなりました! 予算事業1つを取っても、文言の入れ方で事業の利用者の方の受け取り方が変わることがあります。また、国会対応を含む対外的な対応でも、言葉に大きな責任が伴うことを実感しています。
- 入省前はもっと堅い雰囲気があるのかと思いましたが、仕事でも少し雑談をしたりなど、そんなに堅くなく、驚きました。
- 想像以上に課が多く、仕事内容も多岐に渡るのを実感しています。
- 年次の近い先輩に相談できる時間を設けているなど、サポートが充実しているように感じます。
- 技術職として入省しましたが、大学で学んだことが直接生かせる機会が本省でもあることに驚きました。

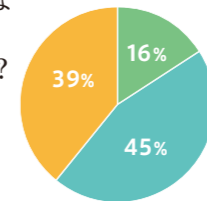
通勤時間はどのくらいですか?

- 30分以内
- 30分~1時間以内
- 1時間~1時間半
- 1時間半以上



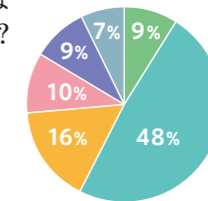
現在、どのような住宅に住んでいますか?

- 公務員宿舍
- 民間借り上げ
- 実家



出身地域はどこですか?

- 北海道・東北
- 関東
- 中部
- 近畿
- 中四国
- 九州



自分を野菜に例えると?  
大根。おでんでは主役、刺身では脇役を担うなど、無限の可能性を秘めているからです。

農村振興局  
整備部  
水資源課  
渡邊 公貴  
R3入省  
総合職農業農村工学



趣味・特技は?  
林野庁に配属されてから里山でのアクティビティや山登りが趣味になりました!

林野庁  
林政部  
企画課  
佐野 元洋  
R3入省  
総合職政治・国際



好きなおにぎりの具は?  
ツナマヨおにぎりが好きです。好きすぎるあまり、学生時代は自分で作って食べていました。

農村振興局  
整備部  
企画課  
小笠原 滯  
R3入省  
総合職農業農村工学



得意な料理は?  
麻婆豆腐が得意ですが、日本風の味付けになってしまうのでスパイスを使って本格的な麻婆豆腐を作りたいです。

林野庁  
林政部  
林政課  
小林 暁子  
R3入省  
総合職森林・自然環境



好きな食堂メニューは?  
吹くらの鯨ステーキ。他にも当省ならではのメニューがあるので説明会で訪れた際はぜひ!

水産庁  
資源管理部  
管理調整課  
伊藤 さくら  
R3入省  
総合職農業科学・水産



好きな食堂メニューは?  
500円とは思えないボリュームの和幸のカツ丼がお気に入りです。

大臣官房  
政策課  
技術政策室  
中野 颯  
R3入省  
総合職農業科学・水産



得意な料理は?  
ビーマンの肉詰め。ビーマンがほろほろになるまで弱火でじっくり焼くのがポイントです!

水産庁  
漁港漁場整備部  
整備課  
小林 馨子  
R3入省  
一般職工学



# 育児休業



飯田 聡美 畜産局 企画課付(育休中)  
H22入省 1種経済

## 育児休業 自分に適した 制度を選んで 活用できる環境です

### 支援制度利用前・復帰後の周囲のサポート

妊娠期間中は新しい法律を担当していました。妊娠初期はつわりで体調が優れなかったのですが、安定期前だったので周囲に伝えるか迷っていました。すると、体調が優れない様子を心配して上司が声をかけてくれたので思い切って妊娠の話を伝えたと、法律制定の佳境の時期でも上司の配慮により負担を減らしてもらい、とてもありがたかったです。また、テレワークを積極的に活用させていただいたので通勤の負担も減り、体調が安定した状態で産前休暇に入り無事に出産を迎えることができました。支援の制度として早出遅出勤務、フレックス、育児時間など様々な選択肢があるので、自分に適した制度を選んでうまく活用していきたいです。

### 復帰後にやりたい仕事

農業は高齢化、耕作放棄地の増加、儲からないなど課題が多いイメージが持たれている一方で、伸びしろが大きいとも言われています。私は入省以来、農業を産業として伸ばしていきたいと思ってきました。今では、子どもが産まれたことで、子どもが成長した頃の農業の姿を考えるようになりました。このため、関心の高い分野は農業経営ですが、成長の伸びしろは様々なところにあると思うので、どんな分野でも多様な切り口から農業を伸ばすために考えて行動していきたいと考えています。

### 支援制度の利用について

妊娠がわかってからは妊婦健診を受けるための通院に特別休暇を利用していました。通院で休暇を取得する際には仕事が忙しい時でも周囲の職員が配慮しサポートしてくれたので、安心して健診を受けることができました。休暇制度は、出産予定日の6週間前から産前休暇を取得し、産後直後の現在は産後休暇を利用しています。この先、育児休業も利用予定です。職務復帰後は早出勤務や育児時間などの制度を利用しながら育児と仕事を両立していきたいと考えています。



菊池 綾子 大臣官房 環境バイオマス政策課付(育休中)  
H19入省 1種農学I

## 育児休業 テレワーク実施で 妊娠中の体調を 整えやすく、 助かりました

### 子育てを通じて感じた農林水産省の魅力

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、テレワーク環境が整い、テレワークでの仕事のやり方も定着しつつある中で妊娠でした。妊娠によって体調がすぐれない中、テレワークの実施によって通勤の負担が軽減され、仕事も家事育児もうまくまわせたように思います。テレワークの実施が進まない組織もあったようですが、状況に応じた仕事の進め方が構築できていたのは、組織の風通しがよく、組織が変化に対して柔軟であることが理由のひとつであり、その点は農林水産省のよい点だと感じています。

### 復帰後にやりたい仕事

人々を取り巻く環境が大きく変化する中だからこそ、安心安全な食料の供給、農山漁村地域の生産基盤の維持といった農林水産行政の重要性を再確認しています。特に、国内の人口減少、東京一極集中の進行は、農山漁村地域の維持、ひいては農林水産業の維持に深刻な影響を与え得るものであり、重要な課題だと考えています。未来を生きる子どもたちが、よりよい世界を生きられるよう、こうした課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。

### 支援制度の利用について

第1子が保育園に園中であるため、第2子を妊娠する前から、時間の制限のある中で仕事をしてきたため、上司や同じチーム内の補佐、部下のサポートのある中で妊娠期間中も業務に励むことができていました。とはいえ、第1子は長時間保育が常態化しており、その中で成長した面がある一方、さみしい思いをさせてしまったという反省がありました。第2子の育休によって、上の子と関わる時間も増やすことができ、その点が特にありがたいと感じています。

# 育児休業復帰



福永 温子 大臣官房 地方課 管理班 表彰・研修係長  
H16入省 11種行政事務

## 育休復帰 自身の 生活スタイルに沿った 働き方が可能です

### 支援制度利用前・復帰後の周囲のサポート

一人目、二人目の復帰後、仕事の負担が軽くなるよう配慮をしていただきました。毎日ほぼ定時で帰っています。子供の急な発熱により突然仕事を休むことになってもしっかり理解があり休みが取りやすいです。その際は、子の看護休暇制度を利用しています。平日に子供の保育園の行事があるときや通院の際は、テレワークをして時間休暇を取得して仕事に影響が出ないよう工夫できますし、予定が組みやすいです。男性も育休を取る方が増えているので、男女の垣根を超えて子育ての話ができる職場です。

### 支援制度利用時の1日の平均的なスケジュール

- 5:50 起床
- 6:00 家事
- 6:10 朝食、身支度、子供の着替え等保育園準備
- 7:10 家を出発
- 7:15 保育園着
- 9:00 勤務開始
- 16:30 退庁
- 18:00 帰宅、夕食準備 ミールキットでささっと調理
- 18:30 夕食
- 20:00 お風呂・夕食後の片付け・明日の登園準備等
- 21:30 就寝 寝る前に洗濯機をタイマーでセット

### 支援制度の利用について

第一子、第二子ともに産前産後休暇と育児休業制度を利用しました。復帰後は育児時間制度などを利用し、16:30に退庁しています。テレワークと時間休暇をあわせることで、子供の保育園の行事に参加したり、通院ができるので、仕事と育児の両立がしやすい環境だと感じています。国家公務員なので支援制度は手厚く、また、周りの方が利用しているので使いやすいのもありがたいです。



鈴木 陽 大臣官房 文書課 法令審査官  
H24入省 1種経済

## 育休復帰 様々な支援体制が 整っており、 柔軟に働ける 魅力があります

### 子育てを通じて感じた農林水産省の魅力

長男が生まれた6年前にも育児休業を2か月間取得しましたが、その際はまだ父親が取得するケースは少なかった中で、上司や同僚が快く背中を押してくれました。次男が生まれるときには、既に農林水産省では父親も育児休業をとることが当たり前になっており、様々な支援の体制が整っていることを知り、数年の間の変化の速さに驚きました。オンラインの業務環境が整っており、育児のために時間単位で休暇を取る日はテレワークをするなど、柔軟な働き方が可能なことも大きな魅力です。

### 子育てのやりがいや苦労

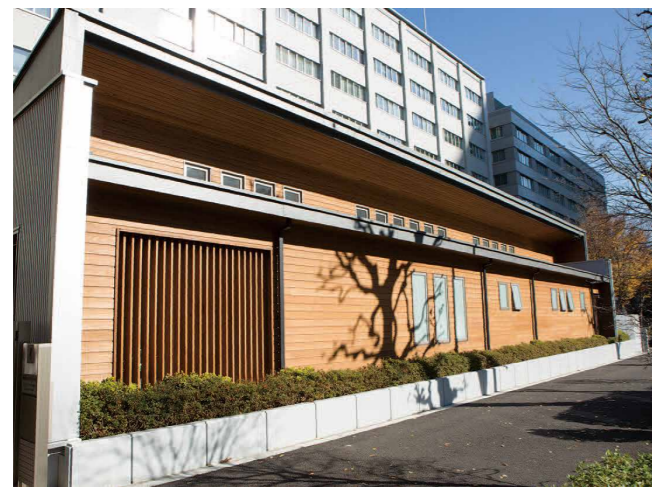
子育てでは、すごいスピードで子供が成長し、また育児に関する情報や選択肢もあふれる中、日々の世話の仕方、健康管理や育児用品の購入を始め、判断に迷ったり不安になったりすることの連続です。我が家では、長男が生まれてすぐに育休をとったことで、子育てについては夫婦二人で相談して決めることが習慣になりました。そのことで、私も妻も、一人で子供を見るとときに自信をもって対応できるし、安心して相手に子供を任せられます。そういう意味で、「最初が肝心」だと思います。

### 支援制度の利用について

2021年6月に次男が生まれましたが、いわゆる「男の育休」をフル活用し、妻と次男の退院日などには一日単位で、妻の入院中や長男の習い事の送迎のときなどに、時間単位で取得しました。長男の幼稚園が夏休みになる時期に1か月の育児休業を取得しましたが、長男と出かけたり、妻に長男と出かけてもらって次男の子守と家事をしたりと、育児・家事の分担をしつつ、長男にも夏休みを満喫させてあげられたことが何よりよかったと思っています。



# 育児支援に向けた農林水産省の取組



## 農林水産省 1号館保育室について

平成29年6月1日に農林水産省に保育所が開所しました。木育をコンセプトに、建物の内部や玩具に木材を利用し、ぬくもりのある環境で五感と創造力を育みます。

給食に関しても、保育所内に調理室と調理師を完備しています。育ち盛りのお子さまに必要な栄養バランスのとれた温かい食事を提供するだけでなく、楽しく食べられる環境を整え、望ましい食習慣、食べ物への感謝、正しい食事マナーを身につけられるようにします。(延長保育の希望者には夕食についても対応可)

千代田区認可の事業者内保育所となっており、農林水産省に勤めている方のお子さまに優先して入園していただけます。



## 職場環境づくりの紹介

仕事と家庭生活の両立が行えるよう、省内で実施している主な取組を紹介します。

### ● 勉強会・座談会

有識者を招き、両立やスキルアップに向けた勉強会を開催しています。両立の工夫を知る機会として、また部下の両立を応援する上司を育成する機会として、役立っています。オンライン開催により、育休中の職員も自宅から参加しています。

### ● 職員掲示板やメルマガでの情報提供

掲示板には、妊娠中から産休・育休、仕事復帰のときに役立つ「パパママ応援手続きリスト」を掲載しています。メルマガでは、育児との両立に役立つ情報を提供しています。

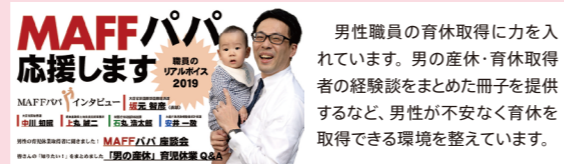
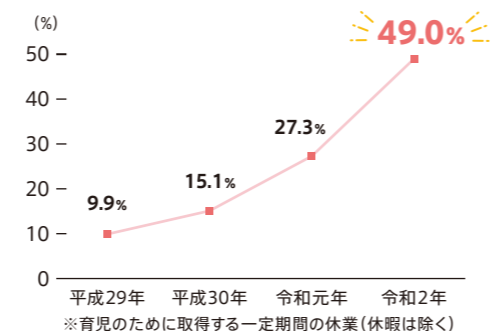
### ● テレワーク・フレックスタイム制の活用推進

働く時間と場所の柔軟化を推進しています。自宅等で勤務を行うテレワークや、勤務時間を柔軟に調整できるフレックスタイム制を活用し、仕事と家庭生活を両立させています。

### ● 本省内に「マザーズサポートルーム」を設置

仕事と育児を両立する女性職員の声により実現しました。乳児の子育てに伴う、さく乳に利用できるスペースです。母乳育児中でも、安心して仕事復帰ができます。

## 男性職員の育児休業<sup>※</sup>取得、増えています！



※全ての国家公務員に適用される両立支援制度は、人事院ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.jinji.go.jp/ikuzi/toppage.html>

## 子育てで感じた 「未来への願い」を 仕事に生かしたい

### 女性農業者活躍支援や意識改革が現在の業務

女性農業者の活躍支援や女性が農業の世界に飛び込みやすいような環境づくりに取り組んでいます。特に、今後の農業の発展や地域経済の活性化のためには、女性や若者などの多様なアイデアを地域の方針づくりに反映していくことが大切で、そのための女性農業者の登用や意識改革に取り組んでいます。また、女性農業者が感性を生かして取り組む、SDGsや食の安全・安心に向けた様々な活動をサポートしています。今後は、女性農業者がスマート農業の技術などを活用して、新たな農業にチャレンジできるよう後押ししていきたいと考えています。

### 食は人から人へのメッセージ

私たち農林水産省のミッションは、日本の豊かな食や様々な地域の魅力を、いろいろな世代や立場の方に伝えていくことです。子どもが生まれてみて、食は人から人に伝えるメッセージであると感じました。食は、栄養補給の側面だけではなく、生産者や料理した人の気持ち、彩り豊かな食材の美しさ、季節や旬、一緒に食卓を囲んで話をする時間、外食や旅先での食でワクワクする体験など、たくさんのものを人に与えてくれると思います。農林水産省の職員としても、親としても、食を通じた様々なメッセージを伝えあっていきたいと考えています。

### 学生へのメッセージ

仕事をしながら子育てをすると、子どもに向き合う時間はどうしても少なくなりますが、その分、仕事で得た食や農に関する様々な思いを子どもに伝えるとともに、子育てで感じた「未来への願い」を仕事に生かしていきたいと考えています。学生の皆様には、ぜひ、仕事とプライベートが相互に良い関係を与えらるような職業を選んでいただきたいなと思います。官庁訪問などでお話できる機会を楽しみにしています。



経営局 就農・女性課 女性活躍推進室長

渡邊 桃代

H16入省 1種法律

### 家族構成について

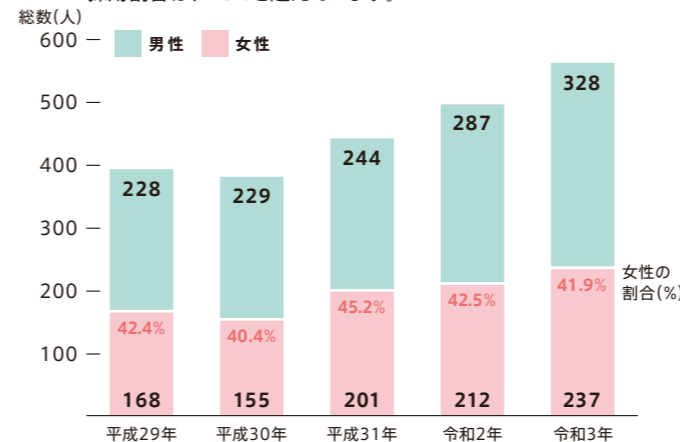
自分、夫、子ども2人(小学生1人、保育園1人)の4人家族

### これまでのキャリアパス

- 平成16年 入省 水産庁漁政課配属
- 平成18年 水産庁加工流通課
- 平成20年 消費・安全局表示・規格課総務班法係長
- 平成21年 経営局協同組織課企画法係長
- 平成23年 内閣府参事官補佐(政策統括官(経済財政運営担当)付)
- 平成24年 食料産業局企画課課長補佐(商品取引企画班担当)
- 平成26年 人事院人材局交流派遣専門員(携帯電話通出向)
- 平成27年 4月~平成28年3月 育児休業
- 平成28年 4月 大臣官房秘書課管理官
- 平成29年 2月~平成30年3月 育児休業
- 令和元年 林野庁林政部企画課課長補佐(総括)
- 令和2年 経営局総務課課長補佐(総括)
- 令和3年 現職

## 女性国家公務員の採用状況

農林水産省における直近5年の女性国家公務員の採用割合は、40%を超えています。



※ 人事院・内閣人事局「女性国家公務員の採用状況のフォローアップ調査」  
※ 総合職(院卒者)に準ずる試験及び一般職(大卒程度)に準ずる試験等を含む。

## 主な育児支援制度

- 産前産後休暇** 6週間以内に出産する予定の場合、及び出産の翌日から8週間を経過する日までの期間で取得可能。
- 育児休業** 子が3歳に達するまで、子を養育するために一定期間認められる休業。
- 育児時間** 子が小学校就学の始期に達するまで、子を養育するために認められる短時間勤務。
- 早出遅出出勤** 育児又は介護を行う職員が、勤務時間等をずらすこと(早出又は遅出)を認める制度。



# キャリアパス

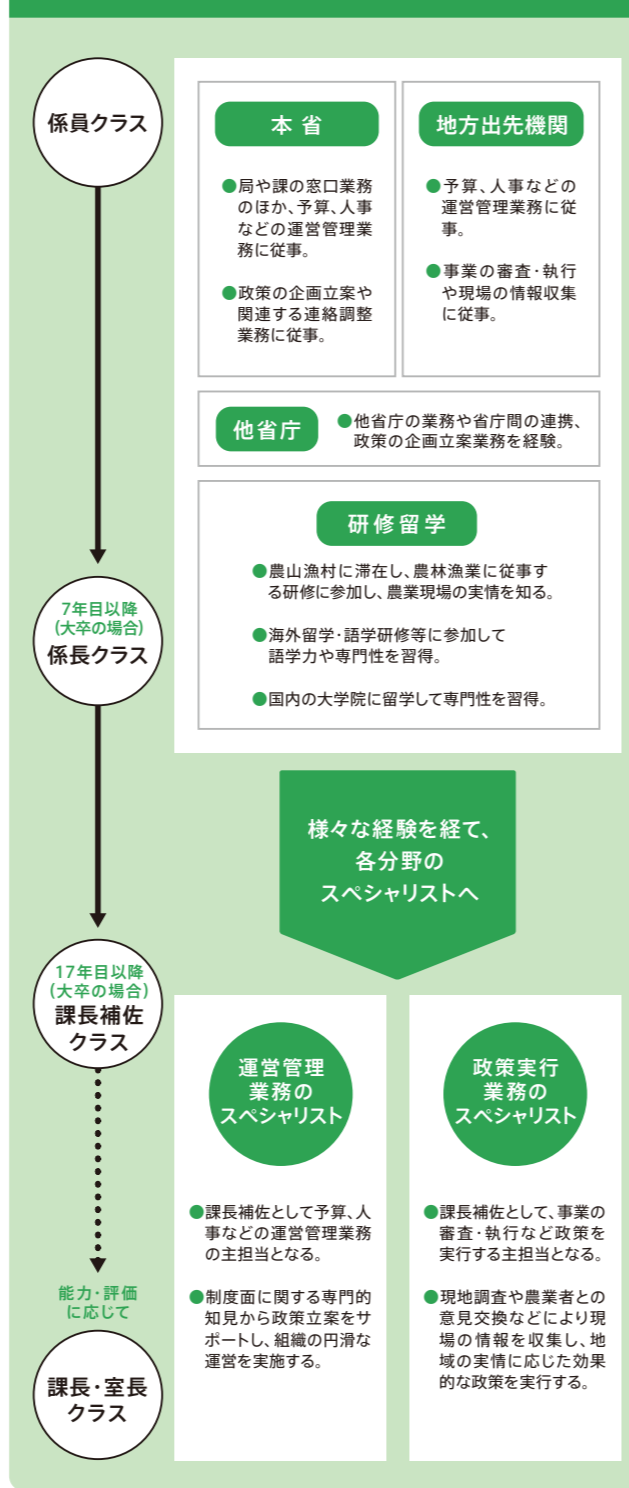
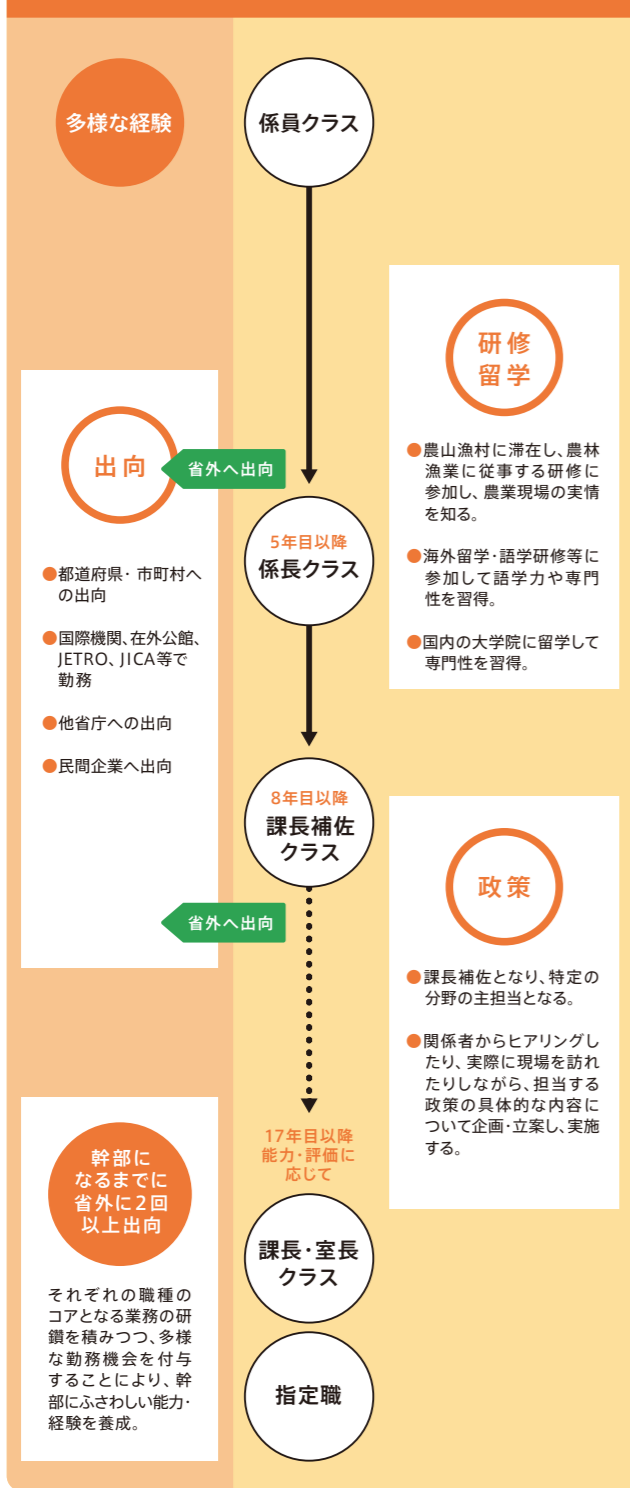
入省後は、霞が関にある本省のほか地方農政局等の出先機関、地方公共団体、他省庁、在外公館や国際機関といった様々な部署で働く機会があります。おおむね2年程度のサイクルで異動し、様々な業務経験を積みながら、キャリアアップを図っていきます。

## 組織のリーダーとして活躍

## スペシャリストとして活躍

### 総合職 若手職員のキャリアイメージ

### 一般職 若手職員のキャリアイメージ



※各採用区分の詳細なキャリアパス・業務内容は以下のホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/joinus/recruit/info/index.html>

# 研修

農林水産省では、職員があらゆる視点から問題を捉え、解決へと導き、それぞれの役割を果たすことができるよう、一人ひとりが高い能力を身につけるための各種研修を用意しています。その研修の一例を紹介します。

## 農村研修



### 大庭 弘毅

輸出・国際局 輸出入支援課  
輸出制度検討チーム係員  
H30入省 総合職農業科学・水産

入省2年目に本省に在籍する職員を全国各地の農家・漁家の元に30日間派遣し、農林水産業の実情を経験する研修です。

米、野菜を生産する農家さんにお世話になり、10月～11月にかけて稲刈り、出荷作業、圃場の管理などを行いました。また、お世話になった農家さんは、食育活動や地域とのつながりを持つことにも力を入れており、子供向けの出前授業や農業イベントなどにも積極的に同行させていただきました。

現場に入ること、農作業や地域農業の課題を肌で感じる事ができました。農業の課題を身をもって体感することで、それがどう大変なのか、なぜ解決していかなくてはいけないのか、より深く考える貴重な機会になりました。短い研修期間ですが、デスクワークだけでは得られない経験がたくさんありました。

研修では、農家さんの課題や苦労を知る一方で、農業の魅力を数多く感じる事ができました。私が研修中にした仕事は農業に必要なことのほんの一部に過ぎませんでしたが、毎日汗だくで出荷作業をしたお米が地域の食卓に届くことを考えると、達成感を感じられました。

そして研修先の農家さんとその関係者の皆様とのコミュニケーションを通じて、これまで足を踏み入れたこともなかった地域に愛着を持ってました。これも、研修の大切な成果だと思います。

## 語学研修



### 泉岡 佑奈

輸出・国際局 国際経済課  
係員  
R1入省 一般職行政

英語や中国語などの外国語を正確に理解する力・表現する力を身につける研修です。少人数制やオンラインなど効率的な体制で国際業務に生きるスキルを磨きます。

私は地方農政局で採用されました。数年後に本省勤務をする際には、国際関係業務に携わりたいと考えており、英語に触れる時間を増やすため、語学研修を希望しました。入省1年目は「オンライン英会話研修」、2年目は、実践的なディスカッションを行う「外国語能力等向上研修」を受講しました。後者では、ネイティブ講師の方からその都度フィードバックをいただき、国際会議で必要となる英語表現を学べました。また、様々な部署の受講者から刺激を受け、英語学習のモチベーションを高めることができました。

3年目から本省に異動し、国際経済課に配属されました。英語での会議に参加して、概要を作るなど英語を使って作業する機会もあり、新鮮で学びの多い毎日です。今後も国際情勢や農林水産業について理解を深め、国際交渉に必要な知識を積極的に吸収していきたいと思っています。

農林水産省は、研修を活用しスキルアップを図りながら、多種多様な業務を経験できる職場ですので、積極的に挑戦してみてください。

## 長期在外研修



### 小川 正樹

長期在外派遣研修(海外留学)  
H29入省 総合職院卒行政

人事院の長期在外研究員制度により、海外の大学院の修士課程等へ2年間派遣し、海外留学を通してグローバルな視点を養う研修です。

私は、ケンブリッジ大学において、環境政策学を専攻しており、主に経済学、法学の見地から、食料システム等に関する環境問題に対し、どのような政策アプローチができるのかを学んでいます。授業では、政策のベースとなる理論だけでなく、世界各国の政策事例に触れ、それらの成功・失敗要因についてのディスカッションも交え、知見を深めています。また授業外でも、大学のカレッジと呼ばれる生活コミュニティを通じて、国際機関や各国政府機関、グローバル企業等での勤務経験を持つ多様な学生との出会いが数多くあります。こうした学生と、日常的な会話の中で、各国の政治や政策について意見を交わすことも、新たな視点を得る上でとても貴重な機会となっています。

今後、日本の農林水産業の持続的発展を図る上で、気候変動や生物多様性等の地球環境との関係は、より一層重要になってくると思います。英国でも、環境問題を踏まえた農林水産業の在り方について、議論が活発化しています。今回の留学では、環境問題に係る国際的な潮流や政策について見識を広げつつ、日本の農林水産業の持続的発展のため、どのような政策が効果的なのかを考えていきたいと思っています。



# 採用実績

# 採用関連Q&A



試験区分		R2	R3	R4
総合職事務系	政治・国際	2	4	2
	法律	8	6	6
	経済	6	4	2
	教養	5	3	5
	院卒者(行政区分)	3	1	1
	院卒者(法務区分)	1	0	0
	総合職事務系合計	25	18	16
総合職技術系 ※( )内は院卒者数	人間科学	2 (1)	1 (1)	0 (0)
	工学	2 (0)	2 (1)	2 (0)
	数理科学・物理・地球科学	1 (0)	0 (0)	1 (1)
	化学・生物・薬学	5 (3)	5 (3)	6 (6)
	農業科学・水産	29 (20)	36 (16)	34 (19)
	農業農村工学	16 (4)	21 (4)	18 (5)
	森林・自然環境	14 (10)	14 (6)	16 (7)
	獣医	19	24	15
	総合職技術系合計	88	103	92
	総合職合計	113	121	108

一般職事務系(大卒程度)	行政	156	187	167
一般職技術系(大卒程度)	電気・電子・情報	1	2	0
	機械	2	2	2
	土木	6	2	3
	建築	0	1	0
	物理	1	0	0
	化学	8	10	10
	農学	75	79	72
	農業農村工学	22	23	22
	林学	64	57	68
	畜産	21	19	19
	水産	18	19	14
	一般職技術系(大卒程度)合計	218	214	210
	一般職(大卒程度)合計	374	401	377
一般職事務系(高卒程度)	事務	8	13	12
一般職技術系(高卒程度)	農業土木	17	15	19
	林業	24	33	25
	一般職技術系(高卒程度)合計	41	48	44
一般職(高卒者・社会人)合計	49	61	56	

総合職事務系(中途採用)	経験者	0	0	0
	選考	2	2	0
総合職技術系(中途採用)	経験者	1	3	0
	選考	3	4	0
一般職事務系(中途採用)	選考	30	86	95
一般職技術系(中途採用)	選考	12	44	34
中途採用合計		48	139	129

※R4は、令和4年1月1日時点の内定者数を表す。

## 業務内容について

**Q** 総合職・一般職の仕事内容の違いについて教えてください。

**A** 総合職は幹部候補生として中央省庁において、わが国の将来のあり方をデザインし、政策の企画・立案業務を行うのに対して、一般職は全国の組織において政策の実施段階に携わるか、又は組織を円滑に運営するための事務に携わります。近年では、人事交流も盛んに行われており、総合職・一般職ともに様々な業務の経験を積むチャンスが増えています。

**Q** 配属はどのように決まるのですか？希望は聞いてもらえますか？

**A** 毎年人事担当との面談などを通じて、本人の希望も考慮して、配属・異動を決定しています。

## 採用について

**Q** 農林水産省ではどのような人材が求められているのですか？

**A** 農林水産政策は、国際競争力の低下、担い手の高齢化など様々な課題に直面しており、常に新しいアイデアが必要とされています。採用に際しては、成績の善し悪しや性別、当然ながら出身高校・大学にもとられるつもりは全くありません。ひとえに人物本位で採用を行っていますので、精神的・肉体的にタフであり、情熱と積極性のある方には是非入省してほしいと考えています。

**Q** 国家公務員試験の点数(順位)は採用に関係するのですか？

**A** 国家公務員試験を最終合格した方であれば、点数・順位は一切関係ありません。

**Q** 農林水産分野と関係のない学部でも採用されるのですか？また、農業に関する知識がないと採用されないのですか？

**A** 農林水産分野と関係のない学部からも多くの方を採用しています。皆さん、出身学部に関わらず様々な場所で日々活躍しています。また、官庁訪問に当たり、細かい知識は全く必要ありません。就職した後、仕事の中で常に学び続ける姿勢が大切だと考えています。

**Q** 説明会の参加回数は、採用に関係しますか？

**A** 説明会は採用広報活動の一環として開催するものであり、説明会への参加の有無が採用に影響するものではありません。なお、説明会では農林水産省の業務内容の紹介をはじめ様々なコンテンツを用意し、多彩な職員を派遣して開催しておりますので、皆さんが就職先や志望官庁を考えるに当たっての一つの検討材料として、気軽にお越しいただければと考えています。